

しまなみへは自転車で行こう
シクロツーリズムしまなみ

2013 事業報告



シクロツーリズム
しまなみ 

CycloTourisme Shimanami

2013 年度総括

お陰さまで、無事5年目のスタートをきることができました。設立時に展望した自転車旅行の推進による持続可能なまちづくりは、空前の自転車ムーブメントと愛媛県・今治市両トップの牽引により、しまなみの観光・地域振興の切り札と位置づけられるまでになりました。実際、「しまなみ海道」を訪れるサイクリストは爆発的に増えています。レンタサイクルで手軽なサイクリングを楽しむ家族連れ、長距離サイクリングを楽しむ旅行者、近頃は、「しまなみ海道」をそれ、今治市のまちなかを回遊するサイクリストも多く見かけるようになりました。私たちの取組にも多様な方々のご意見やご参画を得る機会が増え、自転車通行量増加に伴う安全対策、自転車施策の本質的な意義の浸透といった市民向けの活動への命題も頂戴しております。自転車旅行者を受け入れる自転車先進地・しまなみに求められることを、多様な切り口で実践していければと思っています。

ここに2012年度の事業についてご報告いたします。会員の皆様におかれましては、ご意見・ご批評いただきますと共に、引き続き、ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。





目次


2012 年度事業報告	1
I 事業ダイジェスト	1
II 事業詳細	5
2012 年度決算報告	1
2013 年度事業計画	1
2013 年度活動予算	2



2012年度 事業報告書


自転車の聖地として人気が高まる「しまなみ海道」において、自転車旅行者と住民との交流促進、自転車旅行者受入環境整備、情報発信機能強化など、住民参画型の活動を展開した。周遊型・滞在型の自転車旅行スタイルの定着、自転車人口の裾野拡大など、わが国唯一の「海峡をまたぐ自転車旅行」の充実を推進し、未来の子ども達の笑顔につながる持続的可能な地域振興の取り組みとなった。




I 事業ダイジェスト




1. しまなみサイクリスト交流創出事業（緊急雇用創出事業）	詳細 P5～P20
「自転車を積載できる“サイクルトレイン”運行」、自転車休憩所「サイクルオアシス」等の受入環境をよりよいものにする ことで、来訪意欲喚起及び交流を促進し、滞在型・周遊型旅行地を形成、地域活性化へ寄与する。	
<p>(1)「しまなみサイクルオアシス」の付加価値向上</p> <p>オアシスの担い手と懇談、継続的な運営ビジョンを共有。研修会実施によるサービス検討。</p> <p>成果:バックアップ機能を持つ「しまなみ島走レスキュー」への登録者を創出。</p> <p>課題:継続的運営に向け、担い手の達成感の醸成のための関与やしくみが必要。</p>	
<p>(2)「サイクルトレインしまなみ号」の運行</p> <p>9回の運行・延べ304名(内12名は子ども)乗車。情報提供等、車内サービスの実施。</p> <p>成果:ファン獲得。しまなみ号の他地域への波及。</p> <p>課題:乗車率56%・認知度不十分。区間の短さ、臨時便対応等の運行形態に改善の余地。</p>	
<p>(3)「サイクルトレインと連動した「ガイドツアー」の実施</p> <p>島の季節感あるイベントを盛り込んだ5回のツアー企画・延べ22名(1回は催行不可)。</p> <p>成果:住民交流を促進。リピーター確保等。</p> <p>課題:集客率が低く、ビジネスの芽が見いだせない。イベントツアーの抜本的な見直し必要。</p>	
<p>(4)情報誌の発行</p> <p>「自転車の聖地しまなみ海道」・「瀬戸内まるごとサイクルツーリズム」を製作・配布。</p> <p>成果:県外のサイクルショップ、アウトドアショップへ配布。読者の反響大。</p> <p>課題:紙ベースの情報・WEB情報の両輪活用の戦略確立を目標に。</p>	
<p>2013年度の取組 「しまなみサイクルオアシス」は追加整備及び担い手懇談会設置。</p>	<p>詳細〇ペー</p>
<p>「サイクルトレインしまなみ号」はサービスを付加し、継続運行。</p>	<p>詳細〇ページへ</p>
<p>「ガイドツアー」は一泊二日ツアー・オーダーメイドに重点展開。</p>	<p>詳細〇ページへ</p>
<p>「情報誌」はシクロ機関紙・マップ発行・島走本の発行を展開。</p>	<p>詳細〇ページへ</p>


2. 自転車旅行サポートシステム開発事業（愛媛県緊急雇用対策事業）	詳細 P21～P30
荷物を持たず身軽な旅を楽しみたいとのニーズ、“マイ自転車”を運びたいニーズを満たす運搬サービスを社会実験。 サービス確立化に向けた課題を整理し、新しいビジネス確率によるしまなみの自転車旅行受入体制整備に寄与する。	
<p>荷物運搬の実験的実施(モニターツアーの実施(社会実験))・ステークホルダーとの意見交換 搬送モニター公募による2回のツアー催行。個人旅行者の荷物搬送を期間限定で実施。</p> <p>成果:エリア内での荷物運搬のサービス仕様が確定。MY自転車搬送提携先確保。</p> <p>課題:既存の運送業者はサービス化の芽が見い出せず提携困難。</p>	
<p>2013年度の取組 「荷物運搬サービス」は荷物らくらく便として土日サービス開始。</p>	<p>詳細〇ページへ</p>


3. しまなみスローサイクリング普及事業（愛媛県東予地方局委託事業）		詳細 P31～P45
<p>自転車とグリーンツーリズム(GT)をつなぐ視点をベースに、しまなみエリアを点～線～面へと結ぶ観光スタイルを普及し、地域との交流を促進。活力の低下が続くしまなみ地域(今治市島嶼部、上島町)の活性化を目指す。</p>		
<p>(1)しまなみサイクルレスキュー(仮称)整備事業 怪我や自転車の故障時の救援システムを模索。募集と研修により、サポート体制を整備。 成果:「島走レスキュー」の名称でしくみ化。タクシー会社4・ポイント14整備。尾道へも波及。 課題:本質的な役割の整理(求められている機能とできるサービスのギャップあり)。</p>		
<p>(2)しまなみグリーンサイクリングフォトラリー・100倍楽しむツアー 「グリーンツーリズム体験(GT)」、「サイクルオアシス」を巡るフォトラリーを開催。 成果:65点の応募。入賞者に特産品+情報を提供。同時開催ツアーは4回催行。 課題:GTを楽しむサイクリストは稀有。個人ではチョイスしにくい・担い手の柔軟対応も課題。</p>		
2013年度の取組	オアシス・レスキューに加え、サイクリストの宿の情報発信準備。	詳細〇ページへ
	スローサイクリング普及のために、人に焦点を当てた情報構築。	詳細〇ページへ

4. しまなみサイクリスト施設緊急整備事業		詳細 P46～P50
<p>しまなみ海道愛媛県エリアで、サイクリストが快適にサイクリングを楽しめるよう、公共的な施設やサイクリスト立ち寄りポイントへの備品整備を進め、受入体制を整える。</p>		
<p>サイクルスタンドと自転車修理工具の整備 市町、受入住民との協議を進め、設置、手続き等の共有をした。 成果:サイクルスタンド26基、自転車修理工具20セットを設置。 課題:スタンドは目立つ場所に複数ある理想環境とは言えない。民間業者の自助努力も期待。</p>		

5. まちなか活性化を目的とした、サイクリストおもてなし事業（市町モデル事業）		詳細 P51～P76
<p>域資源「瀬戸内しまなみ海道」をいかし、サイクリストと市民の交流創出、市民への自転車の魅力啓発を進め、空洞化が進む中心市街地再生のしくみづくりを進めた。</p>		
<p>(1)自転車移動カフェ“シクロカフェ”のしくみ創出 公園、店舗前空間等の公共空間に、サイクリストを誘客するカフェオープン。 成果:カフェ13回(1300人) ヒロバ12回(850人)メニュー開発試食会2回実施。 課題:継続的運営に向け、ビジネスマインドを持った提携者発掘。ヒロバ維持の資金繰り。</p>		
<p>(2)就労支援作業所との提携商品「サイクリスト土産」の開発 就労支援作業所との懇談会の実施・商品開発 成果:協働先NPO等とのコラボ開発で複数のアイテム完成。商品カタログ完成。 課題:2012年度は販売実験をするも売れない。販路の開拓が課題。</p>		
<p>(3)自転車マナーUPのしくみ創出 曖昧な自転車ルールの学習機会として「出前講座」のしくみ化 成果:出前講座4回(体験者:約240人 ※自転車安全運転宣言者)。 課題:地道で息の長い活動が必要。徒歩・自転車・車の道路シェア提言がビジョン。</p>		
2013年度の取組	自転車移動“シクロカフェ”は「自転車ヒロバ」とセットで定期出店。	詳細〇ページへ
	出前講座・キャラバンスマートライドイベントでマナーアップは継続。	詳細〇ページへ

6. 瀬戸内サイクルアクティビティ構築事業（愛媛未来づくり協働提案事業）		詳細 P77～P89
大・島博覧会のインパクトの要となるサイクリングロードの観光資源の付加価値向上を目指し、瀬戸内海を自転車と船で周遊するダイナミックな旅行提案とその受入基盤整備により、地域ファン獲得や地域振興の担い手育成を進める。		
(1)しまなみ海道沿線の航路現状調査 現存する航路の発着港、経由地、自転車積載台数等を調査した。 成果: 自転車積載に制限がある航路が可視化。 課題: 自転車積載台数向上を提言。一方、複雑な航路で個人では利用に限界感。		
(2)波方町周辺住民を対象とした地域資源のブラッシュアップ・商品構築イベント 自転車のサブブランドとなる地域資源を整理するための座談会等開催 成果: 3回の座談会・1回のイベントで、自転車による地域振興への可能性共有。 課題: キーマン発掘・プログラム構築は見えるも、実働部隊には若手参画も必須。		
(3)船を活用したパイロットツアーの企画・実施 日帰り(上島1回・大三島1回)、1泊2日パイロットツアー(1回)を開催。 成果: 3回のツアーで船を活用したダイナミックなツアーの可能性検証。 課題: チャーター船活用ツアーは利用者負担で実施できる集客力が必須。		
2013年度の取組 船を活用したツアーは継続展開。 波方エリアでのサイクリスト受入総合拠点設置を模索。		詳細○ページへ 詳細○ページへ

7. その他の自転車ツアー		詳細 P90
自主事業として、旅行会社、地元の宿泊事業者とタイアップしたツアーや個人旅行者のオーダーによるツアーを販売。島を周遊するスタイルを盛り込んだ独自性あるガイドツアーを行った。		
パートナーツアー、「オーダーメイドツアー」の企画、販売。 今治国際ホテル、道後温泉八八、毎日新聞旅行とのタイアップで実績。オーダーメイドも。 成果: 社員旅行のオーダーメイド等、継続的なつながりも感じるツアーあり。 課題: 年間13本(63名)と催行数が少ない。事業の柱になりにくい。		
2013年度の取組 継続するが、抜本的な見直しは先送り。		詳細○ページへ

8. 物品販売		詳細 P90
事業「5-(2)」と連動する形で、サイクリスト向け土産の開発と販売を展開し、しまなみ自転車旅行者のおもてなしに寄与すると共に、しまなみファン・シクロファンづくりを目指す。		
サイクリストを意識した土産の開発と販売 2012年に引き続きTシャツ、タオル等を販売。サコッシュ等新規商品も。 成果: 島走マップの販売数はコンスタントに維持。オリジナル商品の顔に。 課題: 対面販売を基本としつつも、販売チャンネルの拡大が課題。		
2013年度の取組 しまなみ島走本の商品化。他社との販売提携模索。		詳細○ページへ

9. 講師派遣/ 10. 審議会委員会への参加	詳細 P91～ P92
しまなみ自転車旅行振興による地域活性化の使命を達成する現場として有意義であることから、積極的に参画。観光振興に留まらず、持続可能なまちづくり、暮らしの足元を見直す仲間づくりの啓発を意識しての取組。	
<p>講演形式、ワークショップ等への講師派遣。審議会委員会への委員就任。</p> <p>企業・教育機関・団体等の依頼に応じ、人材を派遣。</p> <p>成果：8機関(10回)の講師派遣。4機関の審議会委員会の委員就任。</p> <p>課題：研修プログラムや派遣のしくみが可視化されれば、依頼が増加する可能性あり。</p>	
2013年度の取組	依頼に基づき対応。研究プログラムの造成も視野に活動。

11. 今治市中心市街地再生事業 事務局	詳細 P92
「しまなみ海道」を目的地に来訪する自転車旅行者を、中心市街地まで誘客し、賑わい創出を目指す「サイクル部会」の事務局を担当。	
<p>(1) まちなかサイクリングの推進</p> <p>中心市街地誘客及びまちなか滞留のプログラム造成と空間演出。</p> <p>○自転車まちづくりトーク(講演会)開催○まちなか散走の実施</p> <p>○サイクルスタンドデザインコンテストの開催○サイクルオアシスのまちなかオープン</p> <p>成果：まちなか回遊の息吹が醸成。浜風海道のルート可視化。</p> <p>課題：島とは異なり、交通量が多いまちなか散走の誘客に懸念材料あり。</p>	
<p>(2) 自転車利用の意識向上</p> <p>自転車先進都市に相応しい人材育成、啓発活動の展開。</p> <p>○いまばりスマートライドの開催○ONヘルメットONライドプロジェクト</p> <p>○ONヘルメットアイデアコンテスト開催○しまなみランニングバイク選手権開催</p> <p>成果：スマートライド・RB選手権は今治のイベントとして高評価。</p> <p>課題：啓発事業のため、収益が見込めず、継続展開の資金繰りが課題。</p>	
2013年度の取組	サイクルスタンドの製品化と設置
	サイクルオアシスのまちなか追加整備
	いまばりスマートライドの開催
	しまなみランニングバイク選手権開催

12. 会議に関する事項について
<p>(1) 総会</p> <p>① 第4回通常総会</p> <p>日時：平成25年5月18日(土)14:00～ 会場：今治市民活動センター 大会議室</p> <p>議題：○2012年度事業報告・収支決算報告○2013年度事業計画・収支予算の報告</p> <p>(2) 理事会</p> <p>第1回 日時：平成25年5月18日(土)13:00～ 会場：今治市民活動センター 大会議室</p> <p>議題：○2013年度事業計画・活動予算の件○役員・有給役員の内○総会に付すべき事項の件</p> <p>第2回 日時：平成25年6月21日(金)20:00～ 会場：今治市民活動センター 大会議室</p> <p>議題：○JR波止浜駅賃借提案の件 ○しまのわ2014企画提案の件 ○船活用ツアー等の件</p> <p>第3回 日時：平成25年8月27日(火)20:00～ 会場：今治市民活動センター 大会議室</p> <p>議題：○自転車ヒロバ開催の件 ○はまかぜ海道活用の件</p> <p>第4回 日時：平成25年10月1日(火)20:00～ 会場：今治市民活動センター 大会議室</p> <p>議題：○補助金申請の件(オアシス追加整備) ○ランニングバイク選手権2014の件</p> <p>第5回 日時：平成26年1月9日(木)20:00～ 会場：今治市民活動センター 大会議室</p> <p>議題：○2014年度事業計画・活動予算の件○役員の内</p>

II 事業詳細

1. 「瀬戸内しまのわ2014」に向けた自転車先進地域づくり事業（緊急雇用創出事業）

自転車旅行者のニーズを具現化した「自転車をそのまま積載できる“サイクルトレインしまなみ号”」、自転車ルート可視化した「ブルーライン」、パンク修理対応を一部可能にした「しまなみ島走レスキュー」等の受入環境整備を再検証し、新たなサービスを付加した取り組みの充実化を図る取組を進めた。サイクルトレインしまなみ号の顧客サービスの充実、バックアップサービス実施によるしまなみサイクルオアシスのコア施設強化等、自転車往來を支えるハード（官手動の道路や設備の整備）・ソフト（民主導のおもてなし体制）両面の取組を深め、域内で宿泊しながらゆっくり巡る周遊サイクリングを促す発信を行った。

(1) サイクルトレインしまなみ号の充実化

① サイクルトレインしまなみ号の運行

自転車を解体せず、そのまま車内に持ち込める「サイクルトレインしまなみ号」を運行。「JR松山駅」と結ぶ「しまなみ海道」のもと駅を「波止浜駅」「今治駅」の2箇所拡充し、利用しやすさを担保した。

運行日：5/3(金)、5/5(日)、6/2(日)、7/14(日)、9/15(日)、9/22(日)、10/13(日)、11/24(日)

ダイヤ：往路) 松山 発 7:29頃 → 波止浜 着 9:04頃 → 今治 着 9:12頃

復路) 今治 発 17:48頃 → 波止浜 発17:56頃 → 松山 着 18:49頃

★平成25年度（2013年） サイクルトレイン乗車状況（乗車人数（定員30名））

	運行日	往復	往路のみ	復路のみ	往路合計	復路合計	合計	乗車率
1	5月 3日 (日)	13+子1	15	0	28+子1	13+子1	41+子2	72%
2	5月 5日 (日)	12	0	2	12	14	26	43%
3	6月 2日 (日)	9	2	1	11	10	21	35%
4	7月 14日 (日)	17	6	5	23	22	45	75%
5	9月 15日 (日)	2	0	0	2	2	4	7%
6	9月 22日 (日)	20	3	0	23	20	43	72%
7	10月 13日 (日)	20	1	2	21	22	43	72%
8	11月 24日 (日)	27+子3	0	0	27+子3	27+子3	54+子6	100%
合 計		120+子4	13	10	147+子4	130+子4	277+子8	約60%

利用駅別 乗車人数

運行日	往 路 下車駅		復 路 乗車駅	
	波止浜	今 治	波止浜	今 治
5月3日	26+子1	2	11+子1	2
5月5日	12	0	11	3
6月2日	11	0	9	1
7月14日	19	3+子1	15	7
9月15日	2	0	2	0
9月22日	13	10	5	15
10月13日	17	4	17+子1	4
11月24日	23+子5	2	21+子5	4
合 計	123+子6	21+子1	91+子7	36

自転車積めるJRしまなみ号

松山〜今治 ききょうから運行

薫風を受け、しまなみ海道を自転車で行こう。自転車を積める列車「サイクルトレインしまなみ号」が3日、JR予讃線松山〜今治間で運行を始める。

自転車を移したまちづくりを進める今治市のNPO法人「シクロツーリズムしまなみ」主催。自転車をそのまま列車に積み、降りた駅から散策が楽しめる。停車駅はこれまで、しまなみ海道の南端に近い波止浜駅だけだったが、今回は今治駅にもとまる。今治駅の北東約1kmの今治港前にイベント会場「自転車ヒロバ」を設ける。技術者がタイヤの空気圧やブレーキなどを点検してくれるほか、乗車券を見せるとコーヒーなどのドリンクの無料サービスが受けられる。



運行は、5月3、5、6月2、7月14、9月15、22、10月13、11月24日の8日間各1往復。いずれも午前7時29分に松山駅を出て、9時4分に波止浜駅、同12分に今治駅に着く。復路は午後5時48分に今治駅を出発する。予約が必要。往復運賃は松山〜今治間が大人1840円、子ども920円。定員は各日先着30人。予約はシクロツーリズムしまなみ(0898・330069)へ。

●平成25(2013)年5月3日 朝日新聞_愛媛版

自転車のまましまなみへ

自転車の聖地今治へ発車オーライ。自転車を解体せずに持ち込める臨時列車「サイクルトレインしまなみ号」が5月3日と5日、JR予讃線の松山〜今治間で運行される。列車を降りてすぐ、瀬戸内しまなみ海道サイクリングへ飛び出せるのが魅力だ。

「しまなみ号」は、今治市のNPO法人シクロツーリズムしまなみが、しまなみ海道開通10周年

来月3・5日 松山〜今治

サイクル列車を運行

の2009年以降、毎年、JR四国などの協力で運行している。

しまなみ海道最寄りの波止浜駅で停車。往路便では整備員がタイヤ空気圧

無料点検や移動カフェも

やブレーキを無料で点検してくれる。運行日に合わせて、市中心部の今治港では移動カフェが開かれ、乗車券を提示すればドリンク1杯がサービスされる。1日1往復で、往路は

松山午前7時29分発〜今治9時12分着、復路は今治午後5時48分発〜松山同6時49分着。定員は各便30人で事前予約制。運賃は松山〜今治の片道大人920円、小学生以下460円。6月以降も11月まで計



●平成25(2013)年4月24日 愛媛新聞

車内では、しまなみ海道の観光情報を伝えたり、島走マップ配布により走行行程の相談にのったりと、自転車旅行の充実に資するサービスを展開。また、オリジナルソング「走れ！サイクルトレイン」をBGMに、しまなみサイクリングへのモチベーションを高める演出を行った。

②発着駅でのおもてなしプログラムの展開

自転車旅行者のニーズ、リピート意欲を喚起するおもてなし体制、マナーやモラル向上が伴う自転車先進都市形成等の観点を盛り込み、サイクリングスタート時及びゴール時にそれぞれ相応しいサービスを提供した。

【サイクリングスタート時サービス】

メンテナンスコーナーを設け、自転車コンディションを整えた安心サイクリングをサポートした。ヘルメット着用、左側走行等と呼びかけ、安全なサイクリングを啓発することができた。

★メンテナンス利用実績

日にち	利用者数	ニーズ	利用者の声
5月 3日(金)	10名	空気圧調整・ブレーキ	毎回あるといい。メカが苦手なので助かる。
5月 5日(日)	8名	空気圧調整 ワイヤ・サドル調整	ワイヤー切れを事前発見できた。 ブレーキ回りのアドバイスありがたい。
6月 2日(日)	5名	空気圧調整 ホイールの振れとり	自分では気づかない部分の不具合が直った。 パンクの小さな穴を見つけられた。
7月14日(日)	10名	変速機の調整 QRの締め具合	ギア切り替えの調子がよくなった。 タイヤの取り外し方が分かった。
9月15日(日)	2名	アヘッドステムガタ取り	ハンドルがグラつかなくなった。
9月22日(日)	6名	空気圧調整 チェーンへのオイル注入	フニャフニャせず車体が安定した。 足回りから耳障りな音がしなくなった。
10月13日(日)	11名	シートピン固定位置調整 ブレーキシュー位置調整	乗車時の安心感が増した。 ブレーキ時の異音がしなくなって快適。
11月24日(日)	14名	空気圧調整 ブレーキワイヤー調整 チェーンへのオイル注入	空気の入れ方をはじめて知った。 タイヤの交換時期を教えてもらった。 ペダルを回すのが楽になってよかった。

気づき

- ・整備不良のまま利用している人が多く、メンテナンスの必要性の啓発を感じた。
- ・空気圧が低いことに無関心な人がいるので、その重要性を説明する必要がある。
- ・不意のパンクに不安を持っている人が多く、修理技術の取得に関心を示す人も多くいた。
- ・ヘルメット装着の重要性と合わせて、交換時期について伝えることも必要だった。
- ・自転車の交通法規を理解しているが、習慣として定着するまでに時間を要すると思われる。
- ・ケアのできる自転車店を選ぶことの大切さを知らせる必要を感じた。



▲メンテナンス道具を一式準備し、出発前点検に対応する。



▲専門スタッフを配置。ブレーキや空気圧チェックを実施する。



▲ヘルメット着用、左側走行等、自転車安全運転を呼びかける。

【サイクリングゴール時サービス】

トレイン利用者無料珈琲コーナーを設け、その日のサイクリング体験を交換できる場を運営した。一般市民の来訪を促すしかけとして「自転車ヒロバ」を同時オープンし、市民交流を促進できた。

★おもてなし利用実績

年月	利用者数	配布実績	利用者の声
5月 3日(金)	35名	無料	こどもたちの姿がかわいかった。 ランニングバイクをはじめて見た。 走りの後の甘い飲み物で疲れが取れた。
6月 2日(日)	雨天のため中止		
9月15日(日)	台風のため中止		
11月24日(日)	15名	無料	自転車で販売するアイデアに関心した。 移動カフェ感動！本当に走ってきたの？ コーヒーで疲労から覚醒した。

気づき

- ・島の食材を使ったドリンクメニューに満足感をいただいた。
- ・走り終わった後にゆっくりくつろげる空間、そこで出会う人との交流は、サイクリングの思い出を深いものにすると感じた。リピーター獲得にも通じると思う。
- ・子どものヒロバを併設することで、自転車のまちらしい空間をつくることができた。市民の憩いの場と観光来訪者のジョイントは、地域活性のヒントになると感じた。



▲自転車移動カフェ「シクロカフェ」をオープンする。



▲市民が集まる「自転車ヒロバ」と休憩できる「シクロカフェ」を併設。



▲無料珈琲以外にも、島の食材を活用したご当地ドリンクを用意。

(2) 地域資源の発信

①回遊促進のためのマップ

しまなみ島嶼部での周遊を促す情報に加え、今治市陸地部の飲食や多様なルート情報（ブルーライン・海岸線ルート）を整理し、まちなか回遊等への誘いも含め、滞在時間増加による地域経済活性化を見据えた情報発信を強化した。

【ルートマップの製作】

サイクルトレイン停車駅「波止浜駅」から「来島海峡大橋」へのアクセスルート、「今治駅」からの主要3ルート（ブルーライン・国体道路・海岸線）を可視化すると同時に、自転車休憩所「しまなみサイクルオアシス」のまちなか4ヶ所を紹介したマップを発行、配布した。

②YOU TUBEでの動画配信




サイクリング目線でしか味わえない五感情報を映像で編集。YOU TUBEチャンネルを設定し、県外サイクリストに来訪を呼びかけるプロモーション活動を展開した。



[投稿動画のカテゴリー]

WELCOM★しまなみ	ようこそ！しまなみ海道へ 各地からのサイクリストが集う しまなみ海道では 地元の人たちによって さまざまなおもてなしがされています
聖地★しまなみ	自転車をもっと走りやすく 自転車をもっと楽しめるように しまなみ海道では「自転車の聖地」として 着々と環境が整えられています
おいしい★しまなみ	海の幸・山の幸に恵まれたしまなみ海道 昔からある伝統の味 素材を活かした新しい味 しまなみのおいしさ、召し上がれ
出会い★しまなみ	温暖な気候に恵まれたしまなみ海道 そこに暮らす人たちも あったかい優しさの持ち主ばかりです 島の人たちとの出会いを 楽しんでみてください
みる・あそぶ★しまなみ	しまなみ海道では サイクリング途中にぴったりの 寄り道ポイントがたくさんあります しまなみ海道をとことん 味わいつくしてみましよう

WELCOM★しまなみ

<p>サイクルトレイン出発進行!</p> 	<p>必携!しまなみ島走BOOK</p> 	<p>また、来るよ!</p> 
<p>松山～今治間を走る臨時列車のサイクルトレイン。朝が早いからちょっと眠たいけど、行きの車内は期待でいっぱい。今日はどんな楽しいことが待ってるのかな?</p>	<p>サイクルトレインに乗ってしまなみへ。車内でしっかり情報収集。行きたいところがたくさんあって迷っちゃう。帰りの電車に乗り遅れないようにしなくちゃね。</p>	<p>サイクルトレインに乗って帰路、松山へ。今治駅のホームではスタッフがお見送りしてくれました。車内では、心地よい疲れに思わずうとうと…。いえ、爆睡する強者もいました。</p>

聖地★しまなみ

<p>夕日の中を</p> 	<p>初体験!チャイルドトレーラー</p> 	<p>いざ、しまなみへサイクリングスタート</p> 
<p>本日のツアーもうすぐ終了。来島海峡大橋が、夕方のやわらかい光に包まれて輝いています。ブルーラインに導かれて帰路につきます。ゴールの波止浜駅、到着!</p>	<p>今日のツアーは、自転車大好き一家さんも参加していました。お父さんとおねえちゃん tandem 自転車、お母さんはチャイルドトレーラーにちびちゃんを乗せて。ステキです。</p>	<p>サイクルトレインは波止浜駅に到着。ここから今日のサイクリングはスタートです。ヘルメットをちゃんと被っていざ出発。大島に上陸後は椋名の公園で記念撮影で～す。</p>

おいしい★しまなみ

<p>名物!海鮮バーベキュー</p> 	<p>いただきます!七輪でバーベキュー</p> 	<p>たべるでしょう!塩ソフト</p> 
<p>大島のよしうみいき館で、名物の海鮮バーベキューをいただきました。新鮮な魚貝を七輪で豪快に焼いて食べちゃいます。鯛めしもGOOD!</p>	<p>大島のよしうみいき館で、名物の海鮮七輪バーベキュー。さっきまで生きてたエビさん、ごめんね。おいしくいただきました。ごちそうさま。</p>	<p>伯方の塩で有名な伯方島。お目当ての第一番目はやっぱり伯方の塩ソフトだよ。道の駅「伯方S・Cパーク」で販売しています。ほんのり塩味が甘味を引き立て、おいしい!</p>

出会い★しまなみ

<p style="text-align: center;">地元の素材を堪能</p> 	<p style="text-align: center;">手作り料理に大満足</p> 	<p style="text-align: center;">サイクリングツアー</p> 
<p>大島椋名地区のみなさんが、心づくしのお昼ごはんを作ってくださいました。鯛飯に穴子のつけ焼きなど、地元の食材をふんだんに使用したごちそうの数々に思わず歓声！</p>	<p>大島の椋名地区のみなさんの歓迎に、大いに感動！折り紙のバリィさんを一緒に作り、心づくしの手料理をいただきました。楽しい時間を分かち合えて、うれしい一日でした。</p>	<p>友だちと行くサイクリングも楽しいけど、大勢の人が参加するツアーも楽しい。見知らぬ者どうしだけど、一緒に走ればすぐなかよしになれる。自転車の力だね。</p>

みる・あそぶ★しまなみ

<p style="text-align: center;">サイクリングもいいけど、海水浴もね！</p> 	<p style="text-align: center;">大山祇神社</p> 	<p style="text-align: center;">手作りピザで大満足</p> 
<p>夏はやっぱり泳ぐに限る！というわけで、サイクリングの途中で海水浴を楽しみました。しまなみの海はどれもきれいだから最高ですよ～。</p>	<p>天照大神の兄神で、日本建国の神である大山積大神をまつる大山祇神社に立ち寄りお参りしてきました。境内にはクスノキの大木が神々しく枝を広げ、厳かな空気が漂っていました。</p>	<p>ピザ作りは、子どもたちにも大人気。ハートやミッキー、人の顔をしたものなど、創造力豊かに楽しいピザができました。最後は全部お腹のなか、なんですけどね。</p>

[情報の拡散へ向け]

YOU TUBEに誘導するカードを作成し、サイクリング中の来訪者に配布。チャンネルの告知を行った。

しまなみ海道沿線の宿泊施設や飲食店への設置を進め、すると共に、しまなみサイクリングの魅力が口コミで広がるよう、継続的な取り組みを進めたい。



しまなみ島走チャンネル

サイクリング目線でしか味わえない五感情報満載！
「聖地・しまなみ」におり立った気分をどうぞ。



www.youtube.com/shimanamitousou

- 臨場感ある映像にくぎ付け！
- あなたの投稿動画を待ってます！

(3) しまなみ島走レスキューの充実化

① 荷物運搬サービスの社会実験

滞在型サイクリングスタイルを普及する上で、旅行中の荷物を持たず身軽な旅を楽しみたいとのニーズをカバーするサービスが求められる。しまなみ海道での自転車旅行者の行動パターンを考慮した上で、旅行者にとって使い勝手のよい拠点を選出。サイクリング周遊中の随所から荷物を直送できる荷物運搬サービス「荷物らくらく便」を実験的に展開した。ビギナーの女性を中心にサービス利用があり、特に個人旅行の受入を促進し、選ばれる自転車旅行地としてのポテンシャル強化のために必須のサービスであると感じた。「瀬戸内しまのお2014」のメインテーマの一つであるサイクリング受入環境整備に向け、提携先の充実とスムーズな荷物搬送ルートの確定等を進め、充実化、さらには事業化を目指したい。

名 称 荷物らくらく便

実 施 日 平成25年5月～平成26年3月

実験内容 片側路線（尾道市スタート・今治市ゴール）の荷物運搬サービス
※荷物預かりポイントを3箇所設定。尾道市から今治市への片側搬送サービスを実施（流れ）

- 荷物受取場所（3箇所設置）での荷物の預かり
尾道市陸地部 JR尾道駅
大三島 サイクルオアシス「工房コリン」
今治市陸地部 当会事務所
- お預かりした荷物の搬送
尾道駅周辺～今治駅周辺の指定場所へ搬送（上島町への搬送はエリア外）

（利用時間）

受取場所に13:00までにお預けいただいた荷物を同日18:00までに搬送。

（荷物の大きさ）

縦（最大145cm）+横（最大40cm）+奥行（最大117cm）＝最大300cm

重さ（最大23kg）

（利用料金）

無料

実 績

●利用者数

213名

●預かりポイント分布

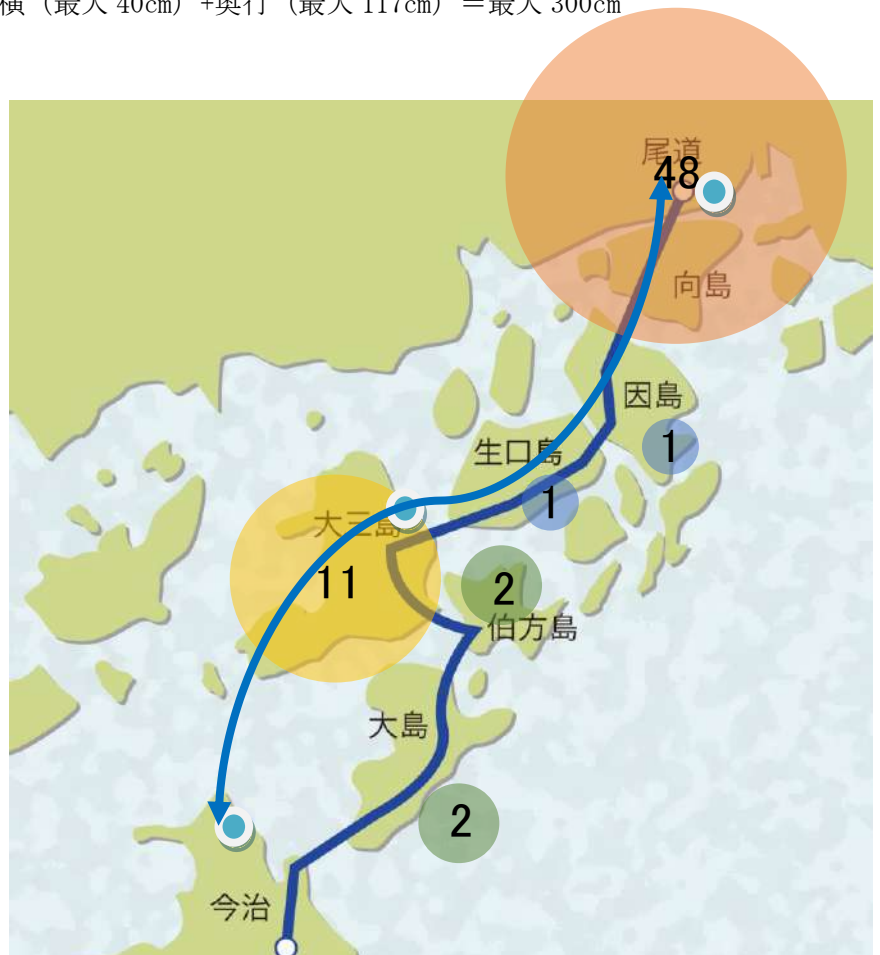
左記マップの通り

●荷物の重さ

平均●キロ

考 察

- 荷物預かり箇所
宿との提携が理想
- 荷物の流れ
尾道市・今治市の両サイド
搬送サービスを具現化すべき。

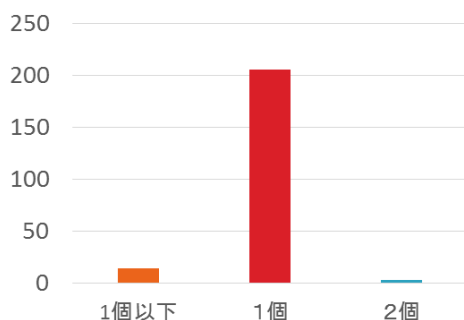


[利用実績]

年月（運搬日）	利用者数	個数/日（平均）	重量(平均)	荷物形状
H. 25/5月 (5日)	35名	1個～6個 合計：34個 平均0.97個/1人	3～8kg 平均5.7kg	・リュック13個 ・バック10個 ・キャリー2個
H. 25/6月 (4日)	23名	2個～8個 合計23個 平均1個/1人	3～10kg 平均6.0kg	・リュック10個 ・バック7個 ・キャリー4個 ・そのほか2個（傘・紙袋）
H. 25/7月 (5日)	20名	2個～6個 合計20個 平均1個/1人	3～9kg 平均6.2kg	・リュック11個 ・バック7個 ・キャリー2個
H. 25/8月 (8日)	30名	1個～5個 合計30個 平均0.96個/1人	4～11kg 平均6.5kg	・リュック17個 ・バック9個 ・キャリー4個
H. 25/9月 (16日)	55名	1個～27個 合計53個 平均：0.96個/1人	2～15kg 平均6.4kg	・リュック21個 ・バック19個 ・キャリー3個 ・そのほか10個（筒・ナップサック・ス ーツケース・ダンボール箱・ビニール袋）
H25/10月 (6日)	16名	1個～4個 合計15個 平均0.93個/1人	5～8kg 平均5.9kg	・リュック5個 ・バック9個 ・キャリー1個
H. 25/11月 (7日)	22名	1個～9個 合計23個 平均：1.05個/1人	2～30kg 平均9kg	・リュック8個 ・バック4個 ・キャリー3個 ・そのほか8個（バイクケース・スーツケ ース・ダンボール箱）
H. 25/12月 (4日)	6名	1個～2個 合計：6個 平均：1個/1人	4.5～12kg 平均8kg	・リュック1個 ・バック2個 ・キャリー3個
H. 26/1月 (3日)	6名	1個～4個 合計：5個 平均：0.83個/1人	2～16kg 平均8.2kg	・リュック1個 ・バック1個 ・スーツケース+バッグ2個 ・紙袋1個
H. 26/2月 (0日)	0名			
H. 26/3月 (4日)	7名	1個～4個 合計：11個 平均：1個/1人	7～11kg 平均8.9kg	・リュック6個 ・バック3個 ・キャリー2個

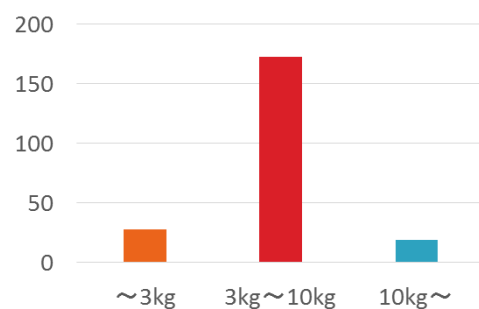
[個数]

個数	人数
1個以下	14
1個	206
2個	3



[重量]

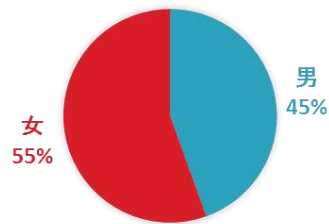
重さ	個数
～3kg	28
3～10kg	173
10kg～	19



②荷物運搬サービス社会実験アンケート結果

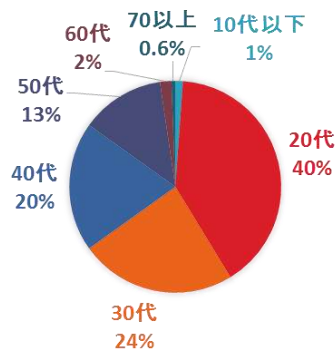
i-性別（人）

男性	77
女性	96



ii-年齢（人）

10代以下	2
20代	70
30代	41
40代	34
50代	22
60代	3
70以上	1

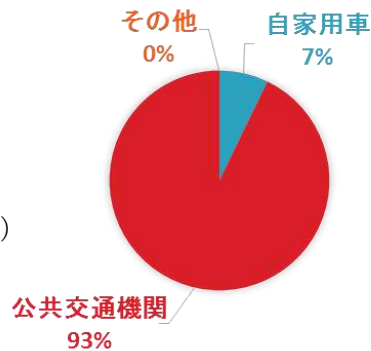


iii-しまなみへの交通手段（人）

自家用車	13
公共交通機関	160
その他	0

公共の交通手段の内訳

- ・新幹線（52）
- ・JR、電車、在来線、鉄道、18きっぷ（64）
- ・地下鉄（2）
- ・バス・高速バス・夜行バス（23）
- ・飛行機（12）

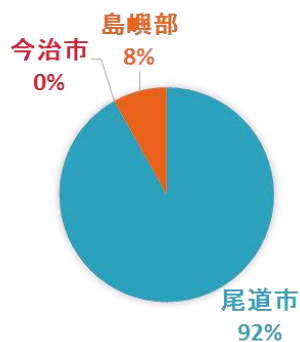


iv-サイクリングスタート地点（人）

尾道市	159
今治市	0
島嶼部	14

島嶼部の内訳

- ・向島（1）
- ・因島（2）
- ・生口島（6）
- ・伯方島（5）

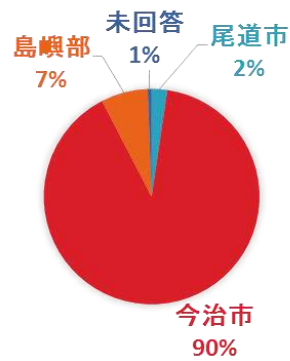


v-サイクリングゴール地点（人）

尾道市	4
今治市	155
島嶼部	12
その他	1
未回答	1

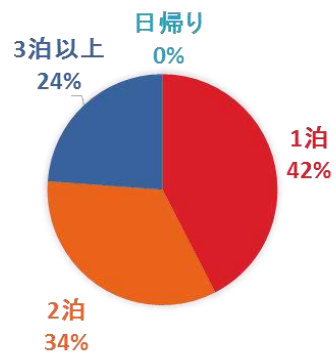
島嶼部の内訳

- ・大三島（9）
- ・伯方島（1）
- ・大島（2）
- ・松山市（1）



vi-旅行日程（人）

日帰り	0
1泊	73
2泊	58
3泊以上	42

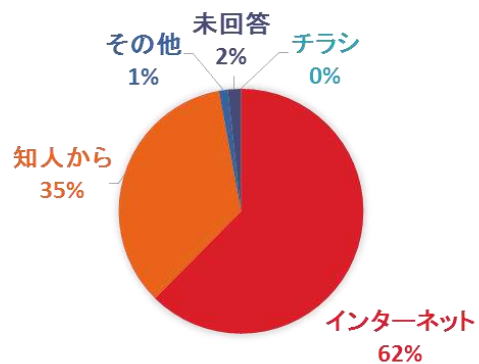


vii-サービスを何で知ったか（人）

チラシ	0
インターネット	108
知人から	60
その他	2
未回答	3

その他の内容

- ・東京広島事務所で知った
- ・父親から聞いた

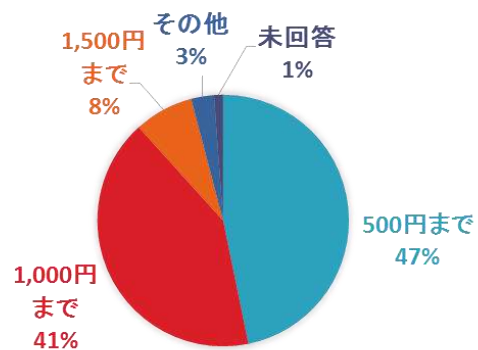


viii-利用料金はいくらが適当か（人）

500円まで	80
1000円まで	71
1500円まで	13
その他	5
未回答	2

その他の内容

- ・距離による
- ・重さ、大きさと料金設定。1個500円～
- ・中四国内の宅急便と同額程度まで



ix-満足したこと

*身軽だった！

- ・身軽にサイクリングができ助かった。
- ・宿泊用の大きな荷物を持たずに楽ができた。
- ・写真撮影が楽しめた。
- ・荷物の不安、心配がなかった。
- ・雨で濡れても大丈夫だった。
- ・荷物が軽くなることほど助かることはない。
- ・他の荷物を色々持ってこれた。
- ・他の買い物ができた。
- ・女性は荷物が多くなるのでこのサービスを知ってよかった。

*集荷ポイント(宿)がいい！

- ・集配場所がシクロ事務所よかった。
- ・集配場所が宿泊先でよかった。
- ・宿泊先まで荷物を取りに来てくれた。
- ・駅まで荷物をとりにきてくれた。
- ・中継地点を経由してくれたことが助かった。
- ・直接受け取らなくてもホテルのフロントへ渡してもらえた。
- ・スタート地点までとりにきてくれた。
- ・ゴール地点に荷物を運んでくれた。

*対応がいい！

- ・安心して預けられた。
- ・サイクリングを安心して楽しめた。
- ・預けた荷物がその日のうちに届いた。
- ・初心者でもサイクリングにチャレンジしやすい。
- ・すぐに荷物を預けられた。
- ・荷物を事前におくらなくてもすんだ。
- ・スタッフが親切で対応が良かった。
- ・対応が丁寧だった。
- ・レンタサイクルの場所を説明してくれた。
- ・受け取り場所の地図を同封してくれた。
- ・預け時間、受け取り時間と場所を指定できた。
- ・スケジュールの変更、遅れに対応してくれた。
- ・天候の変化等の心配事に電話で相談できた。
- ・細かい行程に合わせて配慮してくれた。
- ・受取、集荷に柔軟に対応いただけた。
- ・工房こりんさんに荷物を預けた際、こりんさんから話が聞けた。
- ・預かりポイントの人から色々話を聞けたり情報収集できるのはよい

*聖地に必須！

- ・便利で助かる。
- ・安心してサイクリングを楽しめた。
- ・自転車旅行にはありがたい。
とにかく荷物をどうするか考えてしまう。
- ・このサービスがあれば、行こうと思う。
- ・遠くから来る人には便利。
- ・このサービスがなかったら自転車横断はできなかった。
- ・このサービスがなければしなみをサイクリングしようと思わなかった。
- ・旅行にサイクリングを組み込めた。
- ・全面的に満足

- ・手続きがインターネットとメールでできた。
- ・無料で利用することができた。

x-不安、不満に思ったこと

*実施日の拡大を！

- ・土日しか利用できなかった点。平日も実施してほしい。

*荷物を預ける安心感を！

- ・荷物の配達に対する保証、不着紛失が不安。
- ・セキュリティの問題。
(預ける際の本人確認の手段が欲しい)

*集荷のしくみの改善を！

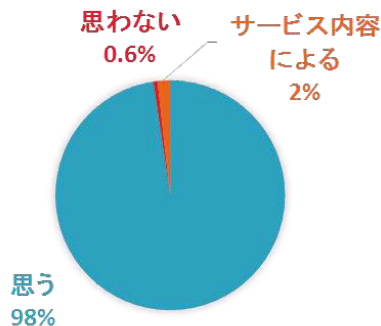
- ・荷物を預ける場所が2ヶ所しかない。
工房こりんから宿泊先まで距離がある。多少高額になっても宿まで取りに来てもらいたい。
- ・生口島泊で、預けポイントが隣の島だったため、各島にポイントが欲しい。
- ・預ける場所が不明確。
- ・荷物を預ける(受取る)宿との連携が欲しい。
- ・今治市からのスタートでも利用できれば良い。
- ・受取場所は今治駅(主要駅)、サンライズ糸山が欲しい。
- ・預ける時間をもう少し早めて欲しい。

*申込手続きの簡略化を！

- ・メールの返信が遅い、回数が多い。
- ・メールのやり取りが必要な点。
- ・最初の申込に時間がかかった。
- ・簡単に申し込めると嬉しい。
- ・受取にきたスタッフがわかりにくい。
- ・インターネット上のサービスがわかりにくい。
- ・情報はもっと詳しいほうがよい。
- ・利用が集中した際キャパが足りないのでは。
- ・利用者が多いと荷物が混ざらないか心配。
- ・複数個運んでもらえると嬉しい。
- ・料金がいくらになるか。

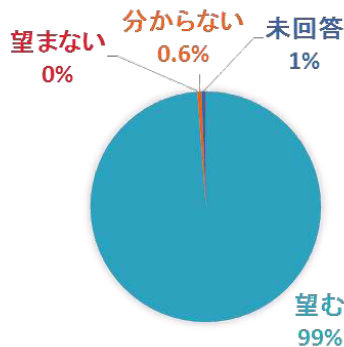
Xi - 次回もサービスを利用したいか（人）

思う	167
思わない	1
サービス内容による	3
未回答	2



Xii - サービスの継続を望むか（人）

望む	171
望まない	0
わからない	1
未回答	1



③ 荷物運搬サービス化の検討

アンケート結果をいかし、本格稼働へ向けた取組を進める。

i - 2014年度ビジョン

○ 利用促進

- ・ サービスの明確化
→ 構築した HP の活用
- 安心感

(確認資料充実・スタッフジャンパー着用)

○ 集荷の流れ

- ・ 尾道市・今治市両サイドへ

○ 集荷ポイント

- ・ 宿泊施設と連携
→ 各島 1 ポイント創出
- ・ 今治駅前での集荷の実現

○ 集荷日

- ・ 毎日実施

上記内容にて、無料の社会実験を実施。

ii - 2014年度以降のビジョン

貨物軽自動車運送事業者としてサービスを有料化し、実施する。

滞在性を有した旅行スタイル「サイクリングレジャー」普及に必須のサービスである。新たなビジネスとして確立し、就労の確保を目指す。

[構築したHP (トップページ)]

The image shows a screenshot of a website homepage for '荷物らくらく便' (Cargo Easy Rider). The page features a large blue header with the title and a navigation menu. Below the header, there is a main content area with a large illustration of a person on a bicycle and a speech bubble saying '荷物らくらく便におまかせください。' (Please leave the cargo to Cargo Easy Rider). The page also includes a 'お申し込み' (Apply) button and a footer with copyright information.

Copyright © CycleTourisme Shikamanami All Right Reserved.

④トラブル時サービス

はじめてのしまなみ自転車旅行の出発前の不安解消、走行中のトラブルバックアップに、電話1本で対応できるしくみを構築することを目指し、オペレーション業務を実験的に展開した。

[利用実績]

	応対日	件数	1日平均
5月	15日	25	1.7
6月	10日	15	1.5
7月	11日	17	1.7
8月	18日	30	1.6
9月	13日	18	1.4
10月	15日	22	1.5
11月	10日	13	1.3
12月	8日	10	1.3
1月	7日	9	1.3
2月	6日	7	1.2
3月	15日	23	1.4
合計	118	189	1.6

[相談内容（複数回答含む）]

分野	件数	主訴
レンタサイクル	7	・予約は必要か
	4	・何処に、何時までに返却すればいいか
	5	・電動アシストはありますか？／どんな種類があるか
	3	・ヘルメットは借りられるか
	4	・かご・荷台付きの自転車はあるか
トラブル	1	・尾道でビンディング用のシューズを扱っているショップはあるか
	1	・リアエンドが破損したが、修理できるショップはあるか？
	1	・リアホールをはずしたが、戻すことが出来ない
	1	・空気入れは何処かで借りられるか
経験値	5	・高齢だが一日で走れるか
	2	・小学生の子どもと一緒に大丈夫か
行程	2	2 ・所要時間について
	1	3 ・尾道→今治あるいは今治→尾道、どちらが良いか。
	1	・糸山から大久ノ島までは、所要時間はどのくらいか
	1	・大三島の入り口から大三島美術館は所要どのくらいか
	8	・その他、具体的な行程の相談
観光情報	1	6 ・島の飲食店の場所を知りたい
	6	・島にある宿泊施設の種類をしりたい／おすすめの宿泊場所
	2	・どこも満室で泊まれる宿を捜してほしい。
	4	・一番良い季節はいつか。
	1	・美味しい焼き鳥屋を教えてください

	1	・大島から四阪島の見えるスポットはどこか
	4	・大漁さんの待ち時間はどのくらいか
	1	・因島で、20名ほどで夜ご飯を食べて宴会の出来る場所はあるか
二次交通	4	・航路の確認/尾道～今治の航路は無いのか
	6	・高速バスは輪行して乗車できるのか
	4	・片道を自転車を積んで移動する方法
自転車	4	・しまなみを走るのにおすすめの自転車は何か
	5	・宅配で送る自転車の受取先はどこかにないか
	3	・若い人と向けと、年配向けのコースを提案してほしい
	4	・高速夜行バスに輪行した自転車が載せられない
	1	・多々羅キャンプ場に泊まりたいが17時以降は電話が通じない
	7	・サイクルオアシスになりたい
	9	・荷物はどうやって運んだらいいのか
	3	・雨の日は自転車で走ると危険か
	7	・持ち物で必要なものは何か
	5	・島走MAPが現地のどこで入手可能か
	8	・島走BOOKの首都圏・関西圏での取扱店はどこか
その他	5	
	189	

[相談者居住地]

北海道・東北	5	北関東信越	4	南関東	42	中部	5
北海道、青森県、岩手県、秋田県、山形県、宮城県、福島県		茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、長野県		埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県		富山県、石川県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県	
近畿	38	中国・四国	39	九州・沖縄	9	外国	1
福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県		鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県		福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県		不明	46

2. しまなみ周遊スローサイクリング普及事業（愛媛県東予地方局委託事業）

しまなみ地域（今治市島嶼部、上島町）のグリーンツーリズム(GT)等の地域資源に親しみながら、自転車でゆっくりと周遊するサイクリングスタイルを普及させることで、交流人口の拡大を図り、地域経済への波及効果をもたらすとともに、持続的に自立できる地域振興を目指す活動を展開した。

(1) ファンライド・スタイル情報発信「しまなみファンライド情報発信」

しまなみ海道周辺のファンライドの魅力やサイクリング情報を発信するFacebookページを作成し、しまなみ海道をサイクリストの聖地として広くアピールするとともに、双方向機能を活かしてユーザーとの交流を促進した。

① Facebookページの運営管理

i. プロフィール写真

季節ごとに変更し、新鮮味のある運営を行った。

立ち上げ時～12/23



12/24～1/5



1/6～1/21



1/22～



ii. カードの配布

FBページの認知度向上を目指し、告知カードを作成した。

サイクリング愛好者に配布する等、書き込みの向上や

「いいね」の獲得を目指した。

② 一般のしまなみ海道サイクリング愛好者の投稿

実走・滞在体験で得たしまなみライドの魅力や地域資源情報の投稿を随時受け付け、投稿した。

投稿数：87本

7月の投稿記事

			
ボンシャンス大三島合宿	サイクリスト祈願	朝焼けの 来島海峡大橋	しまなみの夜明け

他4件

8月の投稿記事

			
青い海としまなみ！	大迫力！200m級 運搬船建造中！	しまイチ	しまなみの夜明け前

他3件

9月の投稿記事

			
高根島からみる 生口島	フレッシュハーブ ティで一息♪	海に浮かぶ城跡	暑さをフットばせ！

他3件

10月の投稿記事

			
新米、最高！	休憩はここと決めていた！	サンライズ糸山に宿泊	タンデム自転車を岩城島で発 見！


他3件

11月の投稿記事

			
親子タンデム島走中	巨大船が突然現れる！	完成間近	サイクリングしまなみ 2013

他4件

12月の投稿記事

			
ブルーとオレンジ	たこあげ？	しまなみ海道の魅力	ラストスパート！

他4件

1月の投稿記事

			
アートの一部に！	もぶしのコロちゃん	最後の食い納め	おもてなし

他6件

2月の投稿記事

			
旅の始まりはこのループから	新春 親子サイクリング	旅の終わり	因島大橋と海

他4件

3月の投稿記事

			
アートの一部に！	もぶしのコロちゃん	最後の食い納め	おもてなし

他20件

③ ツーリングレポート

島々をゆっくり巡る周遊型のツーリングレポートを作成。しまなみの新しい旅のスタイルを啓発した。

レポート数：3本

7月の投稿レポート

「家族でエンジョイ！大島のんびりポタリング」

ルート：今治市糸山公園⇄大島・バラ公園

距離：22km

所要：5時間半



9月の投稿レポート

「離島情緒を味わう上島町の島々巡り」

ルート：今治港→魚島→弓削島→

生名島→岩城島→今治港

距離：34km

所要：9時間

日時：7月15日（月・祝）



10月の投稿レポート

「サイクルボートで行くしまなみ」

ルート：今治港→尾道→向島→因島→

生口島→大三島→今治港

距離：41km

所要：7時間30分

日時：9月22日（日）



「大島～伯方島プチぐるめの旅」

ルート：今治港→大島→伯方島→

大島→今治港

距離：70km

所要：9時間

日時：9月23日（月・祝）

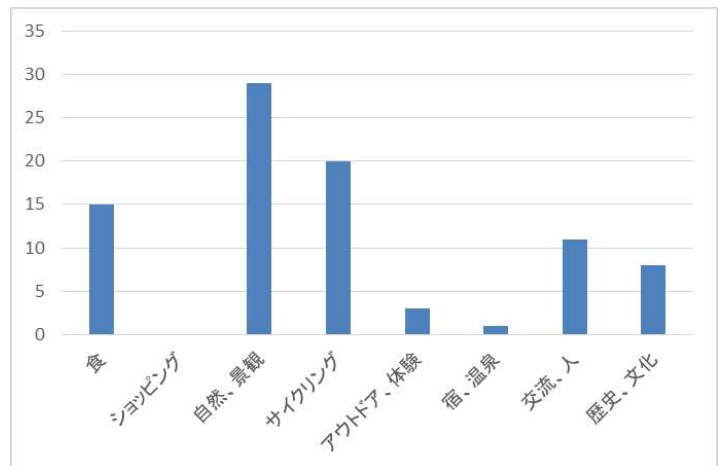


その他、しまなみや自転車に関する情報を発信した。

④ 分析

1. FBページの情報のカテゴリー

ジャンル	記事数
食	15
ショッピング	0
自然、景観	29
サイクリング	20
アウトドア、体験	3
宿、温泉	1
交流、人	11
歴史、文化	8



2. 情報拡散

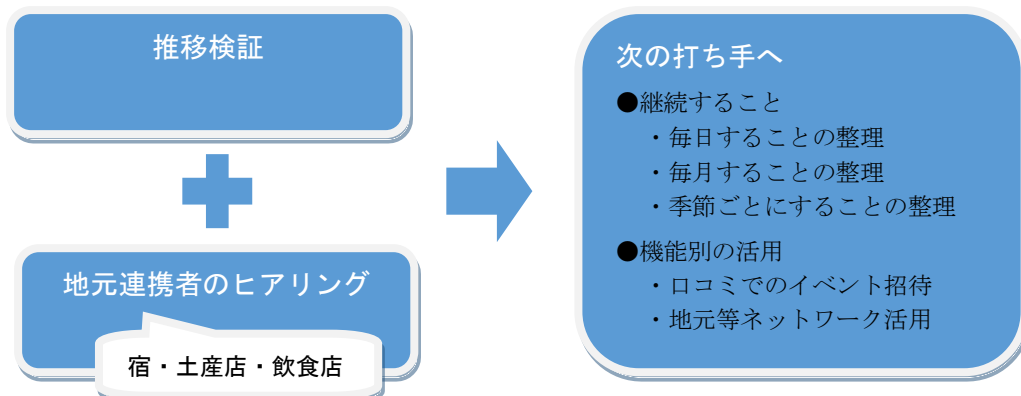
FBページに誘導するカードを作成し、自転車旅行者に配布。

- ・ファン数、投稿数を増やすための方策→**クチコミの拡散**

※サイクリストが立ち寄る「宿、土産店、飲食店」でのカード配布が有効。地元の**ネットワーク**が生まれる相乗効果が大きな副産物だった。



3. 今後の計画



(2) サイクリストの宿事業

サイクリストが宿泊施設を選択する際に重視する項目を整理し、その情報をホームページ上で広く発信するとともに、宿泊施設にサイクリスト向け器材を設置するなどし、瀬戸内しまなみ海道（西瀬戸自動車道）を訪れるサイクリスト宿泊客の増加を図る取組を行った。

① しまなみ自転車旅の宿（ホームページ）の開設

事業に参画意志のある宿泊施設を現地調査し、次の[必須条件]を満たすかどうか、またホームページに掲載する次の[その他のサービス]について、現状を確認した。

i. 紹介する宿の整理

[必須条件]

- ◆自転車の保管場所がある。
大切なマイ自転車を安全に保管できる空間があること。
- ◆自転車の受け取り・送り出しのサービスを実施している。
マイ自転車の受け取り・送り出しサービスができること。

[その他のサービス]

以下のサービスに対応しているかどうか、分かりやすく発信。

- 自転車のメンテナンススペースがある。
- サイクリストのニーズに合わせたシャワーや浴室の利用ができる。
- 洗濯の設備がある。
- インターネットの接続環境が整っている。

ii. ホームページの立ち上げ



② 研修会の開催

サイクリストのニーズ・嗜好性を理解することを目指し、研修会を開催した。

日 時：平成26年3月19日（水） 13時30分～15時30分

会 場：今治市サイクリングターミナル「サンライズ糸山」研修室

参加者：18名 「しまなみ自転車旅の宿」（ホームページ）掲載希望施設の方

講 師：◎案内人 川原 賢二 氏（「サンライズ糸山」支配人）

◎アドバイザー 小林亜紀代 氏（じゃらんリサーチセンター アソシエーションスタッフ）

i. レンタサイクルのしくみの見学

レンタサイクルで宿に到着するお客様も多い中、貸出の実際の現場を知り、実情を把握した。

参加者の中にはレンタサイクルのしくみを知らない人も多く、参考になったとの声があがった。また、以前より幼児を乗せられる電動アシスト付き自転車の数が増えていることに気づいた参加者からの指摘を受け、川原氏より「子どもと一緒にサイクリングしたいというニーズが多くなり増台させた」と説明、若い家族連れの利用者が増加していることがわかった。

さらにゴールデンウィークなどはすべて貸し出してしまい、希望者全員が借りられないといった状況であることがわかり、サイクリングニーズの高さを改めて知った。



ii. サンライズ糸山の宿泊施設の見学

サイクリストを意識したサービスなどの紹介と現状を学んだ。

「マイ自転車を解体することなくそのまま部屋に持ち込みたいというニーズは高く、サンライズ糸山ではそうした要望に応えるようにしている」、「和室ではシートを用意してその上に乗せるようにしている」、「台数が多いときは廊下の手すり（ただし障害者の利用がない時に限る）に固定している」とのことだった。洋室、和室と部屋を見学したが特別な設備が必要なわけでもなく、工夫次第でニーズに応えることは可能であることを理解してもらった。



iii. サイクリストニーズの学習

立ち上げたホームページを見ながら、サイクリストが宿に求めるサービスのポイントを学んだ。

安心できる自転車の保管、マイ自転車の受取・保管・発送ができることは必須であり、そのほか、到着直後のシャワーまたは入浴、洗濯が望まれていること、サイクリスト同士の情報交換もしくは宿からの情報提供など、情報収集の場としても役割も求められているといった指摘に、今までのお客さまニーズとは異なることに気づいてもらうことができた。

また、自転車トラブルの最多であるパンクは空気不足から起こることが多く、出発前に「空気は大丈夫ですか」とひと声かけることで防ぐことができる、そうした気遣いがサイクリストには喜ばれるという意見に、ハード面だけではない“サイクリスト対応宿”としての視点を持ってもらえた。

意見交換において、「レンタサイクルのお客さまは到着時間が読めない」「お客さまからはどのくらいで到着できるかという問合せが多い」という声が上がリ、宿到着への遅れが一番困っている現状が報告された。これに対し、「個人の体力差は大きいので、時間を読むのは難しい」「レンタサイクルで初めて走るという人の多くは、しまなみ海道は平坦だと思っている。詳しい情報発信が必要」という意見が出された。ある宿では予約の際に初心者かどうか確認しているといい、できるだけお客さまの状況の把握に努めているとのことだった。また、夜は道が真っ暗になり危険なので明るいうちに宿に到着するように案内しておくことも大切だという意見も出された。こうした具体的な対処法を宿同士が交換していくことは、しまなみ全体がサイクリストを受け入れる地としての地位向上に有効であり、今後も必要なことではないだろうか。

さらに「自分の島のことならある程度わかるが、他の島のことになるとサイクリストにおすすめするポイントがわからない。しまなみ海道全体のサイクリングを楽しんでもらえるように情報収集していきたい」「ネット環境を整えてもらいたい」「荷物運搬サービスを充実させてほしい」という意見もあった。どの宿でもサイクリストの宿泊は年々増えている、もしくは今後増えそうだと見込んでおり、サイクリングも宿泊も楽しんでもらいたいという気持ちがどの参加者からも感じられた。

参加者のこうした声を受け、じゃらんリサーチセンターの小林氏は、「しまなみ海道は瀬戸内のすばらしい景色にビギナーから上級者まで楽しめるサイクリングロードというふたつの魅力をすでに備えている。これを利用しない手はない。えひめ国体、東京オリンピックと国内外に向けた大きなイベントがあり、しまなみ海道が愛されるエリアとしての地位を確立するチャンスでもある」と資源の有効活用とチャンスの到来を指摘、心強いエールが送られた。続けて「求められている情報をバランスよく拡散する、その情報発信をみんなですれば、検索などで上位に上がってくるのでとても有効だ」と具体的なアドバイスがあった。

しまなみ海道には大きな魅力があること、この何年かは集客のビッグチャンスであることを再発見した参加者。学んだことをいかし、新たなサービスやしくみを構築することで、新しいビジネスチャンス拡充につなげたいとの意気込みを感じた。日帰りサイクリストやしまなみ通過型サイクリストに向け、海道沿線での宿泊を促す受入体制の整備と情報発信を続けたい。



[器材の配置]

■ 自転車メンテナンス工具



■ 自転車スタンド、ラック



■ スポーツタイプ自転車用空気入れ



■ 情報



[助言]



[アンケート結果]

18名/参加者 18名(回収率 100%)

① 研修会全般について(複数回答可)

興味が持ててよかった	10
よかった	6
興味が持てなかった	0
課題が具体的になった	1
課題解決のヒントがあった	5
情報交換できた	5

- ・色々な意見があり、今後の参考になった。
- ・困っている点等の意見交換ができて良かった。
- ・自転車のことが詳しく分かって良かった。
- ・自転車の備品についての説明が聞けて良かった。
- ・輪行袋等、自転車管理の必要性が分かった。
- ・サイクリストの気持ちが少し理解できた気がする。
- ・お客様のニーズが分かって良かった。
- ・時間がまちまちなお客様がいらっしゃる状況。どこも同じなんだなと思った。
- ・問題点は大体同じ。
- ・共通した問題点や改善点が見えて良かった。
- ・専門的な話が聞けた。

② 特に興味を持ったこと(複数回答可)

サンライズ絲山施設見学	5
輪行実践・HPの紹介	6
助言・情報交換	13

[よかった点]

- ・宿泊体制の参考になった。
- ・他のオーナーの話が聞けて良かった。

[改善点]

- ・HPの周知はまだまだ弱い。みんな意見を出していく必要がある。

③ 今後の研修会等の必要性について

必要だと思う	11
内容による	6
必要ないと思う	0

チャレンジしたいことについて

- ・完全予約なので事前説明をしておきたい。
- ・一人でも気持ちよく、おもてなしの心を忘れないように。
- ・農業体験型民宿としてのサイクリストの受け入れが出来ればいいと思う。
- ・体験主体の交流宿泊を続けたい。
- ・外国人の受け入れに伴い、会話の必要性(少しでも)。
- ・外国人が宿泊できるようチャレンジしてみたい。
- ・ブログ、フェイスブック等をやってみたい。
- ・インターネット回線の接続。
- ・部屋に自転車を置けるか、？(不明)。
- ・自炊棟を1棟持っています。

[意見]

研修会の開催について

- ・新しいピックアップがあれば、定期的な開催も良い。
- ・専門的なことを知らないことが多く、勉強が必要!
- ・若い人の話が聞きたい。

依頼したいこと

- ・少しでも多くの情報が必要。情報発信を。
- ・マップ(島別)が必要と感じた。
- ・サイクリストに限らず、しまなみの魅力発掘につながっていけば良い。



3. 外国人サイクリストによる滞在プログラムの発信事業（観光庁/（株）日本能率協会総合研究所委託事業）

自転車の聖地として高い評価を受ける「しまなみ海道」。台湾訪問団との交流サイクリング等の実践を通して、台湾・中国・韓国への販促の芽があるものの、ヨーロッパ・アメリカ等の自転車旅行先進地への情報発信はできていない。そこで、外国人サイクリスト目線でしまなみサイクリングの魅力を棚卸しし、文字情報・映像による「しまなみブランド」を発信する戦略的なプロモーション活動を行い、口コミ拡散による地域誘客活動を展開した。

（1）既存媒体を活用しての情報発信

Facebookページ「しまなみサイクリングパラダイス」、YOUTUBE「しまなみ島走チャンネル」を活用し、外国人ブロガーによる取材・レポート掲載活動を展開した。



ユーザーが求める情報のバランスのよい発信を意識し、FBページで「いいね」・YouTube「グッド」をより多くゲットすることができた。

（2）情報拡散の工夫

FB ページ・YouTube の QR コードを作成し、土産物店・飲食店に配布した。

〈定量的評価〉

① 公式FB ページ「しまなみサイクリングパラダイス」

サイクリストブロガー4名が20本（2月末まで）を行うことでページの存在感の向上。

現在コンバージョン7%（話題52/いいね655）のページを15%（話題109/いいね731）に上昇した。

	投稿前	投稿後	増加率
いいね！の数	655	731	12%
話題にしている数	52	109	110%
コンバージョンレート	7%	15%	114%

② 動画サイト「しまなみ×自転車」

コンテンツ1本追加、動画10本（2月末まで）をYOU TUBUへの配信。

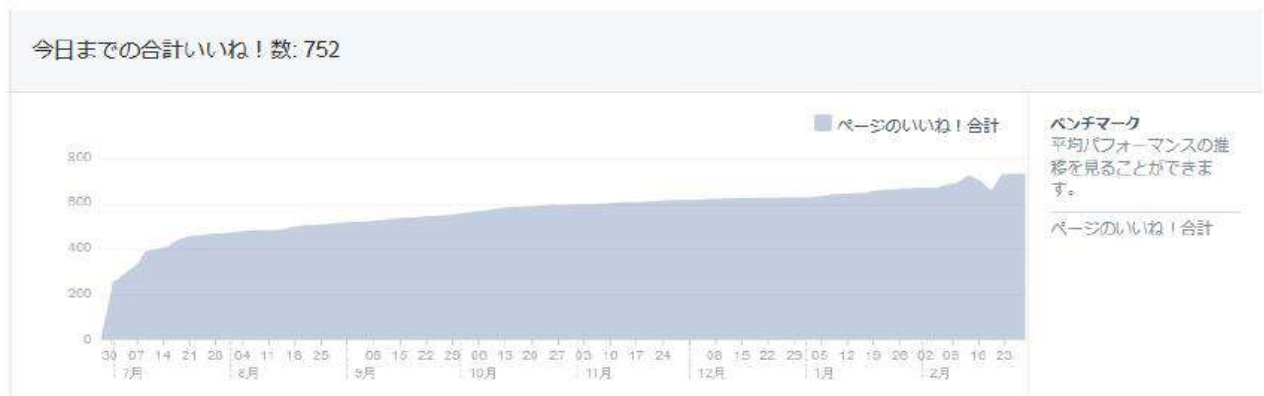
YOU TUBU 再生数442回・チャンネル登録者数2を獲得した。

(3) アクセス解析

今後、インバウンド受入を意識したチャンネルを構築。しまなみブランドの海外での認知度を向上させる取組への参考にするため、FB ページ「しまなみサイクリングパラダイス」のアクセス解析を行った。結果、以下の課題を抽出した。

合計いいね数（いいねの全体的な増減の推移）

- 6月27日「いいね」数0から翌2月28日「いいね」数733 「いいね」増加数733
- FB投稿を続ける事で、順調に「いいね」を増やしている。
- 開設初期に一気に「いいね」数が増えている事でページへの関心度が高い事がわかる。
- およそ半月で「いいね」数が450程度まであがりそこからゆるやかに増加を続け、投稿によるファンの増加・広がりがわかる。



純いいね数の推移（いいねの相対的な増減の推移）

- いいねの取り消し数がないことでFB投稿をする事と投稿内容が求めている情報等に合致している事がわかる。
- 投稿をこまめに続ける事で興味と関心を維持し、情報を効果的に拡散する事に成功している。



投稿のリーチ（投稿が何人見たのか（届いたのか）その推移）

- 投稿内容によって関心度が見える結果として、「サイクリングしまなみ2013」に関する記事が見られる。
- 「サイクリングしまなみ2013開催決定」の記事には200以上のいいねと8000人以上が記事を見ていることがわかる。
- 投稿があると500人程のリーチは基本としてみられている状態を維持している。



外部リンク元（Facebookページにどのウェブサイトからアクセスしたのか）

- リンクされている情報内に検索サイト以外に、県HPからのリンクが多くはないが、一定量発生していることがわかる。
- シクロサイトからのリンクをいくつかのアクセスが発生している事が確認できる。この事から、ブログやサイト等からのリンクが重要である事がわかる。



課題1. 経年変化が確認できない

これまでアクセス解析を行うことがなかったため、過去のデータの集計ができておらず、経年変化による比較ができなかった。そのため、現在の数値の評価基準がつかめない点があった。今後は今回の経験を元にデータの集計を行い、機会をつくって、サイトの動向を観察し、サイト構築の参考にするのはもちろんのこと、実際の運営にも活かしていく必要がある。

課題2. アクセス解析の必要性を理解できていない

アクセス解析は基本、データをどう読み取るか?という作業である。そのため、あるデータも視点を変えることによって、よい結果にも悪い結果にも読み取ることが可能となる。アクセス解析のプロにデータ分析を依頼することは必要であるが、一方で生の現場感覚とのすりあわせがないデータは意味が無く、サイト運営者自身が日々のデータの変化を追い、その意味を理解していくことが一番大切であり、アクセス解析を行う本来の価値につながる。そのため、今後は定期的に、データ集計を行うことを提案する。

課題3. アクセス解析の視点を明確にする

集計するデータは量、種類共に膨大で、日々の忙しい業務の中でアクセス解析に時間を割くのは困難であることが容易に想像される。そこで、以下の4点にアクセス解析の照準を絞り、今後、データを見ていくことを提案する。

①日別のヒット数（訪問回数）

どれくらいの人が閲覧しているのか?大きな動きでサイト全体の動向を確認!

②月別ページランキング

サイトの中で主に閲覧されたページはどれか? 人気ページを知る。

③サイトの接続元

接続元の状況を把握し新規とリピーターの比率を知る。

④検索文

ユーザーが何を知りたくてサイトに来ているのかを検索文から理解する。

課題4. サイクルオアシス/島走レスキューサイトの再定義

サイクルオアシスと島走レスキューについては、既存の情報が蓄積されているのみのページあることから、情報更新の頻度も少なく、よってアクセス数も決して多い状況にない。ここで改めて、当該サイトの役割をもう一度、確認し、今後の方向性を見定める必要がある。これらのサイトは、サイトが独自にユーザーを呼び込む可能性が低いことから、他のサイトやメディアとの連携が必要不可欠である。シクロツーリズムしまなみの本体サイトはもとより、他の機関サイトとのリンクを積極的にすすめる作業も必須である。

4. 自転車回廊の高速道路がつなぐ島巡り散走～瀬戸内まるごとサイクルツーリズム構想～

(第七回「観光資源活用トータルプラン」)

「しまなみ海道」「とびしま海道」「さざなみ海道」を連続した広域サイクリングロードと捉え、その空間的魅力の発信、エリア内の観光資源のサイクリング視点での再構築によるツアーや体験等のアクティビティ提供、飲食、バックアップ、宿泊等の受入基盤整備を進めた。

※2015年度までの継続事業（3年間で瀬戸内まるごとサイクルツーリズム構想を実現する）

(1) 情報発信媒体の作成

「しまなみ海道」の裏海道として人気が高まりつつある「とびしま海道」のマップ作成に着手した。

① 調査・撮影・取材

i. 専門家との懇談

調査に先立ち、地図製作の専門家と懇談。盛り込みたい情報を棚卸しし、その情報を集約する作業を繰り返した。先行して完成している「しまなみ海道」マップのベースに、情報を「点・線・その他」に区分し、「とびしま海道」マップに必要な情報及びレイアウトを検討した。

(掲載したい情報とその優先順位)

優先	掲載したい情報	掲載の仕方	区分	意見交換
A	現在地の確認		点	■現地調査 ・ランドマークを見つける
A	道路案内	詳細道路記載(2条線記載) 島の周回を紹介 農道・林道・登山ルート紹介	線	■メインルートはブルーラインに設定 ・サブコースの構築 ・地域の特色を活かしたルートの開拓
A	行きたいところ	最高所への道のりをマーク 景観のお勧めポイント	点	■コース設定 ・隠れスポットの情報掲載
A	トイレ (店舗併設も含)	公衆トイレの網羅	点	■現地調査
A	サイクリストに優しいポイント①		点	■聞き取り調査 ・サイクリストに優しい店(給水・トイレ) ・住民交流促進の給水ポイントを差別化。
A	所要時間	プロフィールマップの作成		・標準時間を算出のための距離・勾配明記 ・道の選択の際、利便性
A	人の情報 (地域の有名人)	解説は裏面	他	■取材調査 ・人物エッセイを掲載
A	展望スポット (写真撮影エリア)	解説は表面	点	■打合せ必要 ・景観ポイント、隠れスポット、視点の多様性
A	地域の行事	一覧表	他	・期間限定情報として欲しいが見送り。
A	峠・展望台	マニアックなおすすめルート	他	■地形判読 ・勾配表示 ・周回ルート上で「峠」を選定 ・展望台のある「山頂」は掲載必須 ・展望台から望める景観の表現
A	注意箇所	大型車交通量・路面状態	点	■聞き取り必要・現地調査
A	港	場所明示・航路記載 時刻、行き先は裏面記載	他	・既存情報あり
B	高低(断面図)	推奨ルート プロフィールマップの作成	他	・地形の読み取りが必要。 ・国土地理院からも取得可(著作権確認)
B	サイクリストに優しいポイント②	連絡先のみ掲載	点	■詳細調査 ・サイクリストの頼れる場所(修理、応急処置)
C	潮汐表	裏面	他	・潮汐表の解説が必要。必須でなく見送り
C	通行量		他	・交通センサス(国土交通省) ・曜日、季節により変化あり
C	路面の状態	舗装道か未舗装道か	線	■現地確認 ・一般道か農道か農免道路か ・理想を言えば、路側帯の幅 ・歩道の有無
C	気象情報(風向の傾向)		他	■経験者からの聞き取り・現地確認
C	連絡船の時刻表と料金	裏面記載	他	■既存情報あり

ii. 地元座談会

住民ならではの情報、地元サイクリストのニーズを収集することを目的に、住民座談会を開催した。

日時：平成25年9月14日（土）14:00～16:00

会場：呉市豊公民館（安芸灘交流館）2F（呉市豊町大長）

参加者：19名

自転車旅行振興を進める上で、自転車専用マップの重要性を紹介。情報が溢れ、フリーペーパーも多様に存在しながらも、「しまなみ海道」の自転車専用マップ「しまなみ島走マップ」を求めるニーズが高いことを共有した。とびしまエリアの情報について投げかけたところ、飲食ポイント、収穫等の体験ポイント等、住民お勧めの立ち寄りポイントがあがり、マップ上に転記していった。

作業の後半は、とびしまの雰囲気を感じられる「建物」「路地」「風景」等をサイクリスト目線で共有。その歴史的背景等を確認する時間となった。

マップへ掲載したい情報は地域の大切な資源で、その紹介や活用について、地元として前向きに生かしていきたい思いを会場一同共有できた。とびしまのサイクリング受入体制を整えていこうと「愛好会」立ち上げの声もあがり、引き続き、定期的な情報交換、サイクリストを呼び込むしくみづくり等を協議していくことを確認した。



情報量と完成紙面の大きさ等を総合的に勘案し、縮尺サイズと照らし合わせ、裁断面を検討。行政エリア等に考慮しながら、編集・デザインのイメージをつくった。その後、既存の情報誌との差別化を意識し、情報区分を精査。ルートを全て自転車で調査し、緻密な距離と高低差等の数値を記録した。

（地図の大きさの検討）

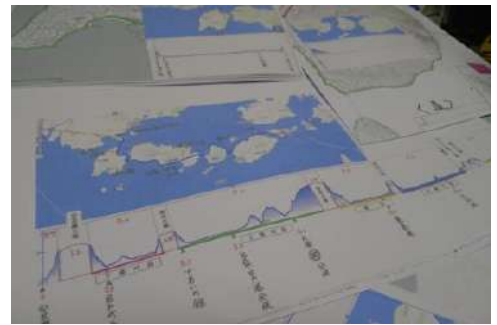
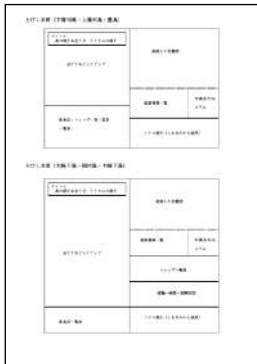
- ・ 1日に約80kmを走行するサイクリストにも対応縮尺→3万分の1 or 2万5千分の1
- ・ 集落の路地も説明できる縮尺→1万分の1 or 5千分の1
- ・ 持ち歩くことを考えるとコンパクトな大きさ（かさばらない枚数）
- ・ 3つの島を別々に載せるメリットと3つの島が1枚で確認できるメリット



全体図	1/10万 ~ 1/20万
メイン図	1/3万
一部縮小図	1/10万
*縮尺は各編・各島統一（島の大きさに応じて、用紙の大きさ（A2&A2+α）は変更）	
*別枠図の作成・・・陸地部呉市内までの案内地図を別枠で記載	
*詳細な道路・・・国土地理院地形図・都市計画図を活用	

② 編集・デザイン・データ作成

掲載情報の収集にあたっては、自転車に優しい場所や食事ポイント等の拠点情報を開拓する等、地元ガイドにしか網羅できない情報を整理した。情報を掲載記事化するにあたり、デザイン、レイアウト、図表・イラスト等をまじえ、わかりやすく表現する作業を進めた。※一部、専門家への外部委託



③ 地図作成

ルート、ランドマーク等をイラスト作成により編纂、配置する等の作業を進めた。

※国土地理院発行の1/30,000空間データ基盤を活用するにあたり、一部、専門家へ外部委託。

日帰りの気軽なサイクリングから、宿泊を伴うシクロツーリズム促進を目指す媒体製作となった。

(2) ツアー等のアクティビティ充実

愛媛県今治市内の港を活用し、サイクリングと船を組合せ、瀬戸内海を一体のものとして楽しむツアーを造成、実験的にツアー実施した。瀬戸内ブランドとしてのシンボル商品としての定着を図り、滞在地のポテンシャル強化を進め、尾道市等、他地域ゴール地点へのメニュー移転を目指した。



2013年度事業

- ① アイランドホッピングツアー 年3回 (7月・9月・10月実施)
- ② タンデム自転車周遊ツアー 年1回 (3月実施)

i-企画・商品造成

地場感溢れるルート設定、体験、飲食、セレクトし、商品造成。



ii-広報

キャッチコピー、イメージカット (写真・イラスト) を作成し、広報展開。平行して、仕入れ。



iii-ツアー実施 (アテンド業務)

地元の資源 (人をベースにした交流演出) を体感できるようガイド機能を強化したツアーを実施。



iv-ツアーレポート

ツアーレポート①

石田ゆうすけさんと行く秘境の旅

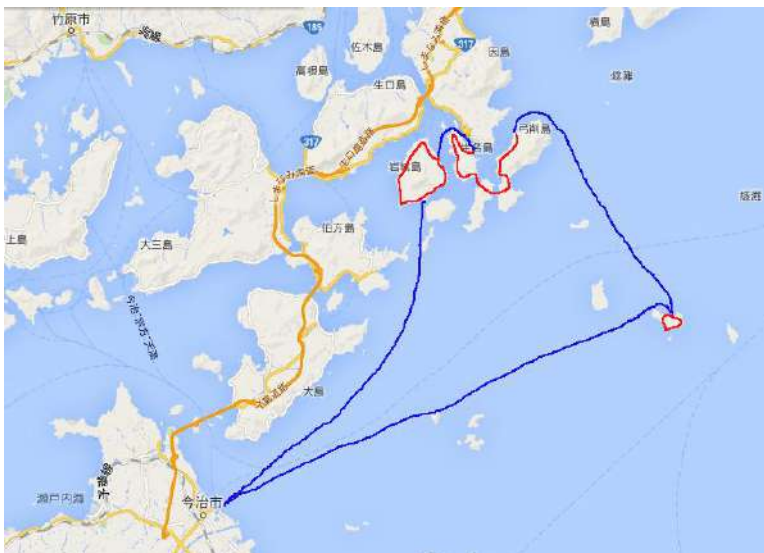
「しまなみ海道離島巡り」

日時：平成25年7月15日（月・祝）8：00～

ルート：今治港→魚島→弓削島→生名島
→岩城島→今治港

距離：34km

所要：9時間



1日で個性溢れる複数の島々を楽しめることはしまなみの醍醐味。しかも、橋がかかっている離島には、独特の島時間が流れる。島の情緒を堪能するツアー行程をチャーター船活用で実現。およそ9時間のツアーで5つの島を巡った。こんな過ごし方ができるのは瀬戸内ならではの。しかも、未開発のプランに手応えを感じた。ノスタルジックなサイクリングスタイルの魅力を参加者に堪能いただいた。橋を走破するサイクリングとは違った島での過ごし方に共感が寄せられ、しまなみサイクリングの新しい形を提案できた。定期船の活用にはハードルがある中、瀬戸内での旅に必須の船の活用を引き続き、地元船会社、行政等と検討したい。

■8:00 <愛媛県今治市>今治港集合/スタート

チャーター船に自転車を積み込み、今治港から出発。観光ポイント「四阪島」近くをゆっくり航行。「四阪島」は明治時代に別子銅山の精錬所として発展した島。産業遺産との声もあった大煙突は老朽化から取り壊されたものの、往時を偲ぶ光景は近未来映画の一場面の様相で参加者からは感動の声があがった。



■9:00 <愛媛県上島町>魚島/魚島縦断

人口約200人の島、魚島に到着！時計回りに周遊。島影の多い橋からの眺めとは異質な海を左手に堪能。孤島を探検しているかのような。途中、島民のコレクションを集めた「国際ホール」へ。廃品の時計を飾った一室で、何とも不思議な時間を過ごす。後半はヒルクライム。海拔0mから85mへ。励まし合いながら上りきれば、展望台からの眺めがご褒美。



■11:30 <愛媛県上島町>弓削島

魚島港から再び船に乗り、弓削島へ。情緒ある屋敷の佇まいに歴史を感じる上弓削の集落を抜け、右手に海と海道でつながる因島を見ながら走る。停泊している自衛隊のイージス艦、造船所等、対岸の景色に目を奪われるひと時。因島まではわずか1km。泳いで渡れるかも？なんて無謀な挑戦を想像する参加者も。



■12:00 <愛媛県上島町>弓削島/しまでカフェでランチ

魚島周遊でペコペコのお腹を満たしてくれるのは、弓削島のコミュニティカフェ「しまでカフェ」。島民の交流の場として誕生し、弓削島の魅力や文化を発信する拠点として活用されている。島育ちの野菜や果物新鮮な地魚などを使ったメニューが人気。なかでも浜辺に生える野草を使った摘み菜料理が有名。ひじきグラタン、魚の南蛮漬け、クエン酸たっぷりのしそジュースを堪能。



■12:45 <愛媛県上島町>生名島・佐島

次に向かうは弓削大橋を渡って生名島へ。全長980mの斜張橋はプチしまなみ海道。海の上を渡っているという臨場感をたっぷり味わう。生名橋を渡り、佐島へ。橋の降り口はループになっていてこれも楽しい。橋のたもとで橋をバックに記念撮影。時計回りに島を周遊しながら、緩やかなアップダウンを楽しむ10kmの行程。



■14:30 <愛媛県上島町>岩城島/おやつタイム

最後に岩城島へ。青いレモンの島というキャッチフレーズ通り、レモン栽培が盛んな島・13.5kmのポタリング。海と島とワインディングロードが織りなす絶景を楽しむながらの爽快サイクリング。ゴール地点の港でアイスクリームを堪能。島のレモンを使ったレモンアイスや桜の花が入っているさくらアイス等、オリジナルフレーバーを堪能。



ツアーレポート②

スポーツドクター・リエチ先生と行く

「しまなみプチグルメツアー」

日 時：9月22日（日）

23日（月）8：00～17：00

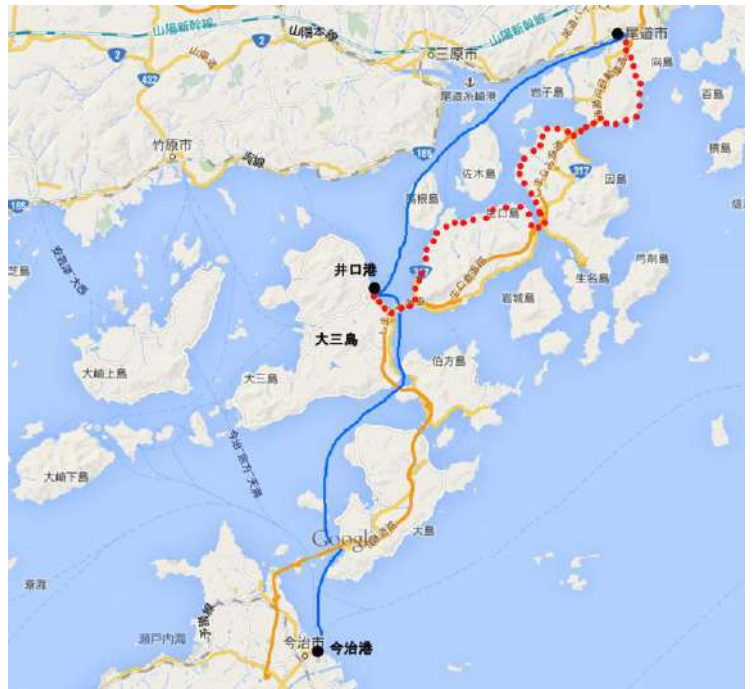
ルート：今治港→サイクルポート→尾道→向島

因島→生口島→大三島今治港

今治港→大島→伯方島→今治港

距離：1日目 41km・2日目 70km

所要：1日目 7時間30分・2日目 8時間



2日間かけて、しまなみ海道を走破するツアープラン。海道沿線の島々を船でつなぐ「サイクルポート」利用を盛り込むことで、メインルートをそれながらのポタリングを楽しむことができた。島のグルメを味わいながら、ゆっくりペダルを進め、ビギナーから走り慣れた方まで、多様な層と一緒に楽しむことができた。週末の限られた休日でサイクリングを楽しむ場合、走行距離・時間を勘案すると、ルートが限定的となる方が多い。船を組み合わせはボリューム感ある新たなツアー行程を多様な層に提示できることが実証された。

週末の限られた休日でサイクリングを楽しむ場合、走行距離・時間を勘案すると、ルートが限定的となる方が多い。船を組み合わせはボリューム感ある新たなツアー行程を多様な層に提示できることが実証された。

1日目 ■9:30 <愛媛県今治市>今治港集合/スタート

自転車をそのまま積み込み、島々の港で乗り降りができる「サイクルポートしまなみ号」。ペダルを漕ぐ橋上のサイクリストに手をふるなど、わくわく・ときどき。尾道港で下船し、向島にある後藤鉱泉所へ。昔ながらの瓶入り飲料を製造している老舗だ。参加者一同、懐かしさがいっぱい。



■11:20 向島横断/因島大橋

向島を横断して島の南側へ向かう。人気がない秋の海を眺めながらのシーサイドサイクリング、そして、因島大橋へ。はしまなみ海道の橋の中で唯一、二段構造になっている。自動車が上、自転車や原付、歩行者が下を走る。頭上から降り注ぐロードノイズ、日射しが遮られる空間が特徴だ。しまなみ海道の橋はそれぞれに特徴があり、面白い。



■12:15 因島/おやつ・ランチポイント

因島に上陸し、目指すは「はっさく大福」でおなじみの「はっさく屋」。お目当ては、新商品の『ぶどう甘夏大福』。期待感いっぱい、がぶり。ランチは住民手づくりの自転車休憩所「しまなみサイクルオアシス」ポイント・万田酵素にて。庭園見学で植物酵素の持つ力のすごさを実感しながらの軒先ランチ。



■14:00 生口島

因島から生口橋を渡り生口島へ。ルートを生口島の北側へとり、瀬戸田の町へ向かう。西日光と呼ばれる耕三寺は3連休の中日とあって、観光客で大賑わい。その向かいにあえる「ドルチェ」が目指すポイント。レモンやデコポンなどしまなみで採れる果物を使ったジェラートで全国的に有名な店だ。ここまで走ってきた疲れも、美味しいジェラートで一掃。



■14:30 サンセットビーチ

生口島の西側、サンセットビーチ沿いのルートをペダリング。右手に海を見ながら、パームツリーの街路樹が続く日本離れた風景を快走する。島ごと美術館の作品も設置しており、自然と芸術作品が織りなす光景に目を奪われる。しばらく行くと、優美なフォルムの多々羅大橋が視界に。ちょっとした感動。



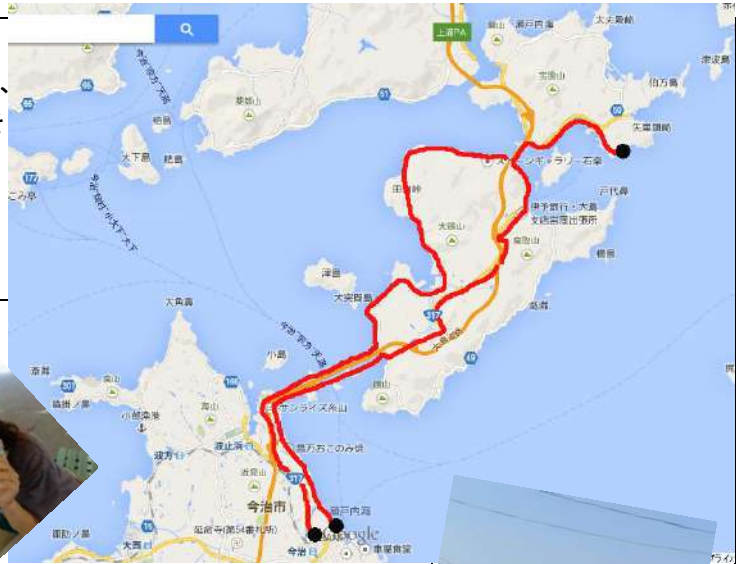
■16:15 大三島・井口港

優美な多々羅大橋は、真ん中が広島県と愛媛県の県境。ペダルを進め、愛媛県大三島・サイクルポートに乗船する井口港へ。井口港は生口島行きや忠海行きの定期航路が就航していた。航路が廃止された今、港は役割を終え、ひっそり。しかし、今夏、地元アーティスト・MAYAMAXX がアートイベントを開催。新しい港の表情に出会える



2日目 ■8:00 <愛媛県今治市>今治港スタート

2日目のスタートも今治港。この日は、ここから海岸沿いに、今治市中心部を結ぶルートは大きく3本あり、最短ルートを行きがちだが、ツアー一行は、海岸線を辿る。対岸の大島や雄大な来島海峡大橋の眺めながらのペダリングからスタートだ。



■9:40 大島到着

今日も食べる！早速、大島の名物「島じゃこ天」をいただく。地元漁協のお母さんたちが来島海峡でとれた魚を使って作る、揚げたてアツアツのひと品だ。今日の味は何か違う…と尋ねると、「ヒラメがはいっとるんよ」。何とも贅沢。



■10:40 伯方大島大橋

じゃこ天で小腹を満たして、大島縦断。途中、風情ある商店街を抜け、上り坂をクリア。伯方大島大橋へ向かう海岸線は絶景の潮流ポイント。川のように潮が流れ、地元では「潮流美術館」を名付ける。まさに圧巻の眺めを右手に、潮風を感じながらのポタリング。



■12:30 伯方島到着/ランチタイム

お昼ごはんは、窯焼きピザ。しまなみグリーンツーリズムのプログラムの一つだ。伯方島のお母さんたちが迎えてくれる沖浦ビーチを目指す。最後の上り坂を超えると、大きく手を振ってくれるお母さんの笑顔。「帰ってきたなあ」って気分になるから不思議だ。まずは、畑で野菜の収穫体験。オクラもなすも太陽の恵みを受けてピカピカ。今日のピザの具材になる。早生のみかんの収穫も！もぎとってすぐ口へ運ぶ。酸味が効いて、疲れが吹き飛ぶとはこのこと。いよいよピザづくり。生地を丸め、伸ばしていく。ソースを塗って、トッピングして、石窯へ。パリッと焼きあがったピザ。味の決め手は、ソースかも。トマトから手づくりのまさに自家製ソースだ。



■ 15:00 再び大島へ

心地よい潮風を受ける居心地のいい空間での至福のひと時はあっという間。お昼寝したい気分を奮い立たせ、お母さんにお別れ。往路は、大島の西側にルートとり、島の最大の難所、田ノ浦峠越えに挑戦。急な坂道をいき上るこの峠は、短いながらも息が絶え絶えになるハードルート。仲間と励まし合いながら、一生懸命ペダルを漕ぐ。頂上で感じる達成感はたまりません。



■ 15:30 よしうみバラ公園

プチぐるめの旅、最後のお楽しみは、よしうみバラ公園にある「つきや」のアイス。名物バラソフトをはじめ、さまざまなフレーバーのアイスがずらり。どれにしようか悩んでしまうこと必至。アイスを堪能したのち、秋の日射しにきらめく海を眺めながら、来島海峡大橋を渡り、今治港へ。アップダウンを楽しみながらの70kmは、走りごたえ&食べごたえばっちり！



2日間かけて、「しまなみ海道」を縦断するツアープランは、しまなみサイクリングの王道とも言える。島のお母さんとの交流を交え、季節感あるグルメも満喫できるツアーは定番商品として発信していきたいと感じた。

ツアーレポート③

自転車ツーキニスト疋田智さんと行く

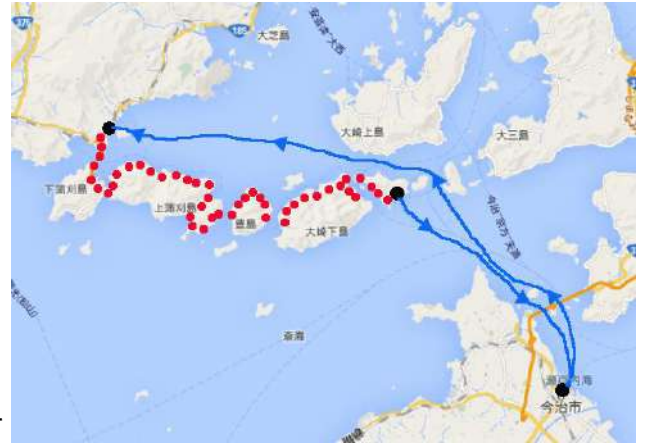
「とびしま海道の旅」

日 時：平成25年10月12日（土）8：00～

ルート：今治港→呉市安芸川尻港→下蒲刈島→上蒲刈島
→豊島→大崎下島→岡村島→今治港

距離：49km

所要：9時間30分



裏しまなみ海道として人気急上昇中の「とびしま海道」。愛媛県今治市側からのアクセスとなるフェリー（今治港→関前・岡村港）の連絡は減便等の影響で利用しにくくなっている。チャーター船を活用し、理想的な行程でツアーを実施。「しまなみ海道」を何度もサイクリングしている方々は、「とびしま海道」への訪問意欲は高い。まずは現状の船の航路や時間を分かりやすく発信するサポートを行いたい。また次年度は「サイクルボード」のしくみの中に、「とびしま海道」へのアクセスを踏まえたルート設定を取り入れ、来訪者のツアーのバリエーション充実を支援したい。

■ 8:00 今治港スタート→呉市安芸川尻港到着

チャーター船で今治港を出発。来島海峡大橋の下をくぐり、大島、大三島を横目に見ながら船は進む。岡村橋、中の瀬戸大橋、平羅橋が一望できるあたりは海域も狭く、箱庭を進んでいくかのようだ。船から下りて、目指すは安芸灘大橋。全長1175m、水色の吊り橋で下蒲刈島へと渡る。この橋、自動車は有料だが、自転車は無料！まぶしいほどの快晴の中、サイクリングスタート。



■ 10:20 上蒲刈島

安芸灘大橋を渡り到着した下蒲刈島は、島の一部をかすめるようにして通過。2番目の島の上蒲刈島を目指して蒲刈大橋にアタック。しまなみ海道と異なり、とびしま海道はクルマの往來をメインとする生活道。そのため橋へのアプローチは、短いが勾配がきつい。ペダルをぐいぐい踏みしめて上る。橋を渡ってすぐ右手には「であいの館」という施設がある。ここで少し休憩。



■ 11:00 上蒲刈島北側

堤防が途切れ鳥居が出現。鳥居の向こうは海だ。思わずペダルを止めて見入る。昔は船で参拝に訪れていたなごりだろうか。鳥居越しに眺める海は、なんだかとても厳かだ。その後は「恵みの丘レストラン」のランチを目指してひたすらペダリング。ここは小高い丘の上にあり眺めもバツグン。刺身や魚フライなど、海の幸たっぷりの日替わりランチで腹ぺこを満たす。



■ 13:00 豊島

ランチを終えて次なる島、豊島へ出発。3つ目の橋となる豊島大橋へは裏道からアタック。かなりの急坂。豊島も北側ルートを選択。途中、豊浜大橋へ左折の案内標識もあるが、アップダウンの多い広域農道となるため、ひたすら海岸沿いを。集落の中にループ橋を発見。生活の知恵がこの橋を生んだだろうか。ひなびた景色に近未来風景を混ぜたようでユニークな光景だ



■ 14:00 大崎下島

本日、4つ目の橋、豊浜大橋を渡り大崎下島へ。ここでは島の名所である“ひばり座”を訪ねた。この“ひばり座”、明地商店というお好み焼き屋。ご主人の明地さんが美空ひばりの大ファンで、美空ひばりを描いたスケッチが店の内外にびっしり。アトリエや展示室もあり、美空ひばりへの熱い情熱が感じられる。



■ 13:00 御手洗散策

大崎下島の西端にある御手洗のまちは、江戸時代、風待ち・潮待ちの港として栄えたところ。御手洗重要伝統的建造物群保存地区として景観が守られている。風情ある町並み散策も趣深い。もう一つ興味深いことを発見。日本人初の自転車世界一周無銭旅行をしたという人物がこの島の出身。その名も、中村春吉さん。元祖・自転車旅行家としてこれから有名になりそう。



■ 16:00 岡村島

大崎下島から平羅橋、中の瀬戸大橋、岡村橋と連続して3つの橋を渡り終点の岡村島へ。岡村橋の中央には愛媛と広島県の県境の線が。県をまたぐのは楽しみの一つだ。岡村港から再びチャーター船で今治港へ。ひなびてのどかな雰囲気のとびしま海道。しまなみ海道サイクリングのリピーターに人気な理由が分かる。情報発信したい。



★3/29 1日目経路



ツアーレポート④

タンデム自転車まつり～離島の大崎上島一周＆しまなみハーフライド編～

日 時：平成26年3月29日（土）12：00～
30日（日）～16：00

ルート：今治港→大崎上島→大三島宗方（泊）
→大三島南岸→伯方島→大島→今治市内

距離：1日目 33km・2日目 46km

所要：1日目 5時間30分・2日目 6時間30分

★3/30 2日目経路



1日目はチャーター船で大崎上島へ上陸。しまなみ海道ととびしま海道、本州に囲まれた位置にある大崎上島。離島のため、船を利用しなければアクセスできない。普段、なかなか行くことのできない島を一周し、参加者に大いに喜んでもらった。

2日目は、大三島宗方港からチャーター船を利用して同じ大三島にある伊藤豊雄建築ミュージアムへ。その後、大三島伯方島、大島、ゴールの今治へとメインルートポタリングした。船と自転車を組み合わせれば、しまなみ・とびしま・さざなみエリアを多方向に移動することができ、プランニングの幅が広がる。また、タンデム自転車でもそのまま乗せることができる船を使用することで、多様な人にツアーを楽しんでもらうことができた。

<p>1日目■12:00 <愛媛県今治市>今治港集合/スタート チャーター船に、タンデム自転車もそのまま積載。視覚障害等ハンディキャップのある人でもサイクリングを楽しむことができるタンデム自転車のツアーには、今回も視覚に障害を持つ方も参加。ノーマラーゼーションツアーは出発式から笑顔満載で期待感いっぱいスタートした。</p>	
<p>■ 12:50 大崎上島・沖浦港到着 船内では海上から眺めるしまなみの橋、島の風景を楽しむ。いよいよ大崎上島上陸。今回は季節風の向きを考慮し反時計回りで島を一周する。また広島臨空広域都市圏振興協議会が企画する「りんくうサイクリングスタンプラリー 大崎上島一周コース」にも挑戦だ。</p>	
<p>■ 13:20 きのえ温泉ホテル清風館 岬の頂上に立つこのホテルからは見晴らし抜群だが、そこに至るまでの上り坂がけっこうきつい。タンデム自転車は同じ自転車を漕ぐふたりが励まし合いながら上った。しんどさも分かち合うことができるタンデムのよさを見せていた。スタンプを押した後、中ノ鼻灯台で記念撮影。</p>	
<p>■ 14:00 木江 町並み散走 木江地区は江戸時代は港待ちとして、大正時代は造船ブームでにぎわったエリア。今はひっそりとしてしまったが、往時の繁栄を偲ばせる古い家並みが残っており、その雰囲気堪能してもらった。瀬戸内の歴史を肌で感じる事ができた。</p>	
<p>■ 15:10 小頃子(おごろす)トンネル見学 島の北西部の古い集落の中にある小頃子トンネルは、地元でも「秘密のトンネル」と言われている。昭和4年開通の手堀のトンネルで、軽自動車がよく通れるほどの狭さ。壁面はレンガ貼りで独特の雰囲気を有している。観光マップにも乗っていない穴場で、参加者は大満足。</p>	
<p>■ 17:00 大崎上島・沖浦港 スタンプラリーの2カ所に立ち寄ったあと、沖浦港着。大崎上島一周ゴールとなった。再びチャーター船に乗り込み、大三島・宗方港へと向かった。その後、宗方にある元小学校の木造校舎を再利用した施設で交流会を行った。ノスタルジックな島情緒をたっぷり楽しんだ一日となった。</p>	

<p>2日目 ■7:40 <大三島>「大三島ふるさと憩いの家」スタート 2日目は、大三島から今治まで、しまなみ海道ハーフライドに挑戦。宿泊した大三島ふるさと憩いの家を出発し、大三島西沿岸を北上、まずは今治市伊東豊雄建築ミュージアムをめざした。雨模様の天気のうち、途中、上り坂。海の景色に励まされながらペダルを漕いだ。</p>	
<p>■ 10:00 今治市伊東豊雄建築ミュージアム サイクルスタンド“Mr.大三島”の完成記念セレモニーがあり参加した。このサイクルスタンドは、平成24年度に公募したサイクルスタンドコンテストにて最優秀賞を受賞したものだ。大三島の自然に調和し、新たな記念撮影ポイントにもなると評価も高い。セレモニーでは、菅良二今治市長や日本を代表する建築家・伊東豊雄氏からの言葉もあり、市民の力で誕生したしまなみ海道の新たな魅力に参加者は感動していたようだった。</p>	
<p>■11:00 大三島南岸 会場をあとにして大三島の南岸沿いを大三島橋へ向かってサイクリング。右手に海を眺めながら、ダイナミックな海岸線を走った。急坂もあり、なかなかの健脚向けコース。さらにこの日は天気もあまりよくなく、時折雨風が強まったが、お互い励まし合いながらペダルをこいだ。</p>	
<p>■12:30 <伯方島>道の駅「伯方SCパーク」／ランチタイム 「愛の地産地消レストラン」でランチタイム。伯方島の女性グループが運営し、月に1日のみ開店するレストラン。伯方島産の新鮮な旬の食材を使い、体にやさしい料理を提供している。ひじきごはん、いぎす豆腐、酢大豆といった郷土料理は参加者の舌を喜ばせてくれた。ひじきごはんを何杯もお替わりしたり、作り方を尋ねたりと大変好評。関東や関西、九州など遠方からの参加者が多かったので、他では味わえない地元ならではの家庭の味を楽しんでもらえたのではよかった。</p>	
<p>■13:45 サイクルスタンドMr.伯方島 午前中、お披露目となったサイクルスタンド“Mr.大三島”。このサイクルスタンドはシリーズで6体あり、そのうちの1体がすでに道の駅「伯方SCパーク」には“Mr.伯方島”が設置されている。その“Mr.伯方島”にマイ自転車を駐輪し、思い思いに記念撮影などをしてもらった。「“Mr.大三島”とはまたひと味違うロケーション、表情、駐輪の仕方なので楽しい」という声が聞かれた。すべて完成すれば、6体を巡るサイクリングプランも人気になるのではと感じた。</p>	
<p>■ 14:15 <大島>早川港公園 伯方・大島大橋を渡って大島北側の海岸線を西進。6体のうちのひとつである“Mr.大島”が設置される予定の早川港公園で休憩をとった。ここは静かな場所で、大島のメインルートからはずれており、サイクリストの立ち寄りが少ないロケーションではあるが、“Mr.大島”が注目されるようになれば、ここに立ち寄るサイクリストも増えるのではないだろうか。 この先にある難所の田浦峠越えに備えてしっかり休憩、水分・エネルギー補給を行った。</p>	
<p>■ 15:00 よしうみバラ公園 難所の田浦峠を越え、バラ公園で休憩。名物のバラアイスを味わったり、これから咲き誇るバラの姿を想像したりとゆったりした時間を過ごしてもらった。</p>	
<p>■16:40 <今治市内>今治市民活動センター ゴール 2日間に渡るツアーも終了。途中、自転車が故障するなどアクシデントもあったが、参加者の満足度が高く、「またぜひ来年も参加したい」という声が圧倒的に多かった。親子でタンデム自転車を漕いだ参加者は、「きつい坂も協力して上り、達成感を共有できた。親子の絆が深まったみたいだ」とゴール後の感想を述べてくれた。船を利用することでふだん行けない島へも行けたことがよかったと話す参加者もいた。タンデム自転車を何台も連ねて走るのは、島の人たちにとっても関心を引くようで、沿道で何人もの人たちが手を振って応援してくれるがうれしかったという声もあった。また、タンデムなら子どもも参加できる。今回も子どもの参加が多く、世代を超えた交流が図れたのも高い満足度につながったのではないだろうか。</p>	

③ サイクルポートしまなみ号運行

瀬戸内まるごとサイクルツーリズム実現に、海の移動を楽しむしくみは不可欠である。エリア内を自転車で楽しむスタイルに、船での移動を誰もが盛り込むことができるよう、新しいしくみとして「サイクルポートしまなみ号」を企画。地元の船会社と共同運行した。

しまなみの航路現状

海上交通の物流・人流が縮小する中、域内の航路は減便、廃止が続く。新たに観光交流サービス産業への期待が膨らむ中、住民の足として位置づけられる定期船の観光利用も見られる。しかし、サイクリング途中で船に自転車を載せるには、積載台数に制限があったり、便数が少なく、利用に限界があったりと課題が多い。



■ 島嶼部への航路・自転車積載状況等の調査一覧

くしまなみエリア

航路	発着港	経由地	発着港	フェリー	高速船	運賃(片道)	自転車搭載	積載台数	備考	問合せ先
今治⇄大島	今治港	—	下田水港	×	○	¥320	輸行すれば可(無料)	×	手荷物(輸行袋)にして持込み可能	協和汽船 0898-22-6825
※10月統合再編 今治⇄大三島	今治港	宗方(大三島) 木江(大崎上島)	宮浦港	○	○	¥990(フェ) ¥1050(高)	¥240	<高速船>5台ぐら いまで(予約不可)		大三島ブルーライン 0898-32-6713
今治⇄因島	今治港	友浦(大島) 木瀬(伯方島) 岩城(岩城島) 佐島(佐島) 下弓削(弓削) 生名(生名)	土生港	×	○	¥1,700	¥550	5台ぐらいまで (予約不可)	<積載不可の便> 今治発 7:55/14:45 土生発 12:30/17:15	芸予汽船株式会社 0898-32-6712
波止浜⇄馬島	波止浜港	来島・小島	馬島港	○	×	¥260	¥80	複数台	その時の荷物次第。 「10台ぐらいは?」「確実と は言えません」	くるしま 0898-41-8425
大島⇄伯方島	宮窪港	鵜島	尾浦港	○	×	¥300	¥120	○	何台でも大丈夫。 車・トラックも可	(有)シーセブン 0897-72-1650
大三島⇄竹原	盛港	大久野島	忠海港	○	×	¥350	¥120	○		大三島フェリー(株) 0846-22-6199
生口島⇄三原	沢港	—	須波港	○	×	¥450	¥120	○		須波航路サービス 0848-67-0777
生口島⇄三原	瀬戸田港	沢(生口島)	三原港	×	○	¥800	¥120	5~10台 (予約可能)	約5台・約10台積載の船あ り。台数多いなら要予約。 船を手配する。	ほうらい汽船 0848-64-0530
生口島⇄尾道	瀬戸田港	沢(生口島) 須ノ上(佐木島) 重井東(因島) 新浜(尾道)	尾道駅前港	×	○	¥800	¥150	15台ぐらいまで (予約可能)	もし20台とかなら連絡を。 大きな船を手配する。	瀬戸内クルージング 0865-62-2856
生口島⇄岩城 島	洲江港	—	小漕港	○	×	¥285(人+自転車)		○		三光汽船(株) 0845-28-0035
因島⇄岩城島	土生港	—	長江港	○	×	¥380(人+自転車)		○		長江フェリー 0897-75-2580
因島⇄生名島	長崎港 (長崎棧橋)	—	立石港	○	×	¥70	¥60	○		生名公営渡船 0897-76-2224
因島⇄弓削島	長崎港 (長崎棧橋)	(生名経由便もあり)	下弓削港	○	×	¥240	¥110	10~15台ぐら いは可能	車は積載不可(二輪のみ)	弓削汽船(株) 0897-77-2052
因島⇄弓削島	家老渡港	—	上弓削港	○	×	¥180(人+自転車)		○		(有)家老渡フェリー 0845-22-4463
因島⇄生口島	金山港	—	赤崎港	○	×	¥95(人+自転車)		○	日曜日は運休	三光汽船(株) 0845-28-0035

因島⇄三原	重井西港	鷺(佐木島)	三原港	○	×	¥600	¥130	○		土生商船(株) 0845-22-1337
因島⇄三原	土生港	立石(生名島) 重井西(因島) 鷺(佐木島)	三原港	×	○	¥1,250	輸行すれば 可(無料)	×	手荷物輸行袋)にして持込 み可能	土生商船(株) 0845-22-1337
因島⇄魚島	土生港	下弓削(弓削島) 豊島 高井神島	魚島	×	○	¥1,000	¥310	5台ぐらいまで	他の荷物の関係もあるの で事前連絡がベター	上島町魚島総合支所 0897-78-0011
尾道⇄向島	尾道駅前 港	—	富浜(向島)	○	×	¥100	¥10	○	6:00~22:10 7~12分おきに運行	向島運航(株) 0848-22-7145
尾道⇄向島	土堂	—	小歌島(向 島)	○(人・二 輪のみ)	×	¥60	¥10	○	6:00~22:10 頻繁に運行	福本渡船 0848-44-2711
尾道⇄向島	土堂	—	兼吉(向島)	○	×	¥100	¥10	○	平日 5:40~22:30 休日 6:00~22:30 5~10分おき運行	尾道渡船 0848-44-0515

<とびしまエリア>

航路	発着港	経由地	発着港	フェリー	高速船	運賃(片道)	自転車搭載	積載台数	備考	問合せ先
※10月統合再編 今治⇄岡村島	今治港	—	岡村港	○	○	¥840(フェ) ¥840(高)	(フェ)¥150 (高)輸行すれば可(無料)	(フェ)○ (高)×		今治市関前支所総務課 岡村港務所 0897-88-2252
竹原⇄大崎上島	竹原港	—	垂水港	○	×	¥330	¥130	○		大崎汽船(株) 0846-22-2390 山陽商船(株) 0846-22-2133
竹原⇄大崎上島	竹原港	—	白水港	○	×	¥340	¥130	○		大崎汽船(株) 0846-22-2390 山陽商船(株) 0846-22-2133
竹原⇄大崎下島	竹原港	大崎上島	大長港	×	○	¥1,350	輸行すれば可(無料)	×		土生商船(株) 0845-22-1337
東広島⇄大崎上島	安芸津港	—	大西港	○	×	¥370	¥130	○		安芸津フェリー(株) 0846-45-0462
大崎上島⇄大崎下島	明石港	—	小長港	○	×	¥250	¥150	○		土生商船(株) 0845-22-1337

サイクルポートしまなみ号の企画

しまなみサイクリング愛好者の多くにとって、「しまなみ海道」を縦断は大きな目標。リピーターにとっては、島において島を周回し、可能なら離島にも足を伸ばしたい。そう願う来訪者は多い。ただ、1日しか休暇が取れない。体力や自転車経験値から、いつも同じところまでしか足を伸ばせない。そんな声を聞く。

ビギナーや家族連れが海道縦断のしまなみ大満喫プラン実現できるよう企画、運行したのが「サイクルポートしまなみ号」だ。

瀬戸内の島々巡り 自転車は船で搬送 楽々サイクリング

自転車を船で運んで島々を巡るサイクリングツアーが今秋、催される。しまなみ海道が通らない島にも行けるとあって、瀬戸内海を楽しむ新しい旅のかたちになりそうだ。

自転車を核にした街づくりを進める今治市のNPO法人「シクロツーリズムし

自転車は船で搬送

まなみ」（山本優子代表理事）が企画した。65人乗りのフェリーに自転車を載せる。9、10両月につづつツアーを用意した。

9月は、22日に今治港を船で出て、広島・向島からサイクリングを始める。大三島で再び乗船し、今治港へ戻る。翌23日は今治と伯方島を自転車で往復する。走る距離が短いため、子どもたちと一緒にサイクリングが楽しめる。1日だけの参加も可。

10月は、12日に広島県内の島々を巡る「とびしま海道」(約30km)を走る。今治港を船で出航し、岡村島へ。橋でつながる広島・大崎下島、下蒲刈島などを通り、岡村島へ戻った後、船で今治港へ戻る。

料金は両ツアーとも1日当たり7500円(ガイド、昼食代、通行料など込み)。定員30人。申し込み、問い合わせはシクロツーリズムしまなみ(0898・33・0069)へ。



ツアーで自転車を運ぶフェリー＝シクロツーリズムしまなみ提供

今治のNPO、22・23日と来月12日 ツアー開催

こんな旅を提案！

●平成25(2013)年9月6日 朝日新聞_愛媛版

こんな1日を過ごしてみませんか？

家族で念願のしまなみサイクリング！
one day schedule
 今治港 船 下田水港 自転車 大島ボタリング 自転車 来島海峡大橋 自転車 サンライズ糸山
 一人で何度も楽しんだしまなみサイクリング。今度は小学生になる子どもと走りたい！まずは大島まで船で渡り、大島プチサイクリング「フィナーレは一押し」の「来島海峡大橋」を渡ろう!!

大自然からの恵みをいただく女子旅はコレ！
one day schedule
 サンライズ糸山 自転車 大三島ボタリング 自転車 井口港 船 今治港
 女子力アップを目指す神様に会える大山祇神社。樹齢3000年のクスノキ&ヘルメットお守りからパワーをもらって・・・温泉もある大三島！帰路が船なら、ゆっくりとお湯につかれて大満足！

はじめてのしまなみフルライド！
one day schedule
 サンライズ糸山 自転車 尾道ボタリング 自転車 大三島ボタリング 自転車 井口港 船 今治港
 島々で寄り道しながらのサイクリングを計画！1日で往復は厳しかった・・・でも、帰りが船なら、尾道ぶらりもできて、尾道ラーメンを食べながら、もしかしてビールもOK?!仲間と一緒に出かけよう。(自転車も飲酒運転はダメですよ!!)

新しい船のしくみづくりへ

今治港をスタートして大島下田水港、大三島井口港を経由。終着の尾道港までの途中の港でも自由に乗り降りできる。復路は尾道港から同じく2つの立ち寄り港を経由して、今治港へ。朝、一番に船に乗り込み、一気に対岸へ。片道をゆっくりサイクリングする利用者。逆に、サイクリングを目一杯楽しみ、帰りは船に揺られて帰る利用者も。定員いっぱいのお客様を乗せ、途中で下船していく人たちを、皆で手を振り見送りながら、まさに「旅は道連れ」といった旅情も乗せたボートは大盛況となった。

■運行日 平成25年9月22日(日)

■時刻 <往路>

今治港	下田水港	井口港	尾道駅前港
9:30 発	9:45 着/9:48 発	10:15 着/10:18 発	11:00 着

<復路>

尾道駅前港	井口港	下田水港	今治港
15:40 発	16:15 着/16:18 発	16:45 着/16:48 発	17:05 着



大島 下田水港



大三島 井口港



尾道 十四日元町港



準備体操を念入りに行う



写真を撮って楽しむ



橋通行者に手を振って楽しむ

本取組による体制整備の成果

平成26年3月10日 地域限定旅行業 取得

(取得の背景)

自転車旅行に特化した「着地型旅行商品」に着目し、新しい価値観でのツアー提供にチャレンジしてきた。地域独自の魅力をいかした商品への期待を感じる一方、商品として提供するためには、交通・宿泊を一体的に販売する取組が求められ、旅行業法に則った体制整備が急務となった。特に、瀬戸内海を面で捉えた本取組の実証実験は、船を活用するもので、不可欠な体制となった。

(規制緩和の追い風)

旅行業を取得するにあたって、財源規模の小さいNPO法人等の組織のハードルとなっていた「営業保証金」と「基準資産額」。今回、営業所の存する市町村並びにこれに隣接する市町村等の限定された区域についてのみ、企画旅行、手配旅行等を行うことのできる旅行業の類型として「地域限定旅行業」が創設され、「営業保証金」の最低額、「基準資産額」とともに100万円に引き下げられた。しまなみエリアの限定された区域のみで旅行業務を行う当会が、旅行業への参入できる道筋となった。

■地域限定旅行業の創設 観光庁■

平成24年12月14日 旅行業法施行規則の一部を改正・公布 / 平成25年4月1日施行

地域限定旅行業は、着地型旅行の商品化を進めたい地域の観光協会や旅館ホテル、NPO法人などが旅行業へ参入しやすくするため、業務範囲を限定したうえで営業保証金の供託額と基準資産額を100万円以上(第3種は300万円以上)に引き下げて新規参入を促す。これまで旅行業参入には営業保証金供託額の高さがハードルになり、着地型旅行推進の1つの障壁になっていた。

地域限定旅行業の特徴はその名の通り、限定された区域だけで企画、手配旅行を実施できるということ。対象地域は本社・営業所がある国内の「市町村と隣接市町村」などに限定される。

また、事前収受金の20%制限も撤廃。第3種旅行業者が企画旅行を実施した際、事前収受金は20%以下に制限され、ほぼ現地精算だったが、これがなくなることで企画旅行の実施がしやすくなる。

(3) 休憩・交流機能の充実

サイクリングの聖地としての認知度を高める「しまなみ海道」。サイクリングコースを可視化した「ブルーライン」（車道左側に引いた青色の案内ライン）が整備される等、受入体制整備が進む。この「ブルーライン」は「とびしま海道」にも伸張され、一体的な売り込みがはじまった。本事業で取り組む「自転車休憩拠点“しまなみサイクルオアシス”」の総合拠点創出は、「しまなみ海道」「とびしま海道」、そして「さざなみ海道」のトライアングル起点に、自転車旅行をグレードアップする交流空間を官民協働で取り組むものである。

2013年度事業

① ミュージアム

「自転車旅行者と市民の交流創造」の拠点のソフト・ハード機能を参加型で学ぶ「シクロサロン」を開催。自転車旅行に特化した図書閲覧機能、自転車の歴史を探訪できる展示コーナー等のアイデアを棚卸し、自転車旅行ミュージアムオープンを視野にした取組に着手した。

[シクロサロンVOL. 1]

日時：平成25年7月14日（日）13:00～16:00

会場：大浜集会所（今治市大浜）

テーマ：旅と本

参加者：35人

講師：石田ゆうすけ氏（旅行作家）



7年半かけて自転車で世界一周した石田ゆうすけ氏が話題提供。シクロツーリズム文化を発信の求心力がしまなみにはあると太鼓判。

自転車ムーブメントを牽引する「しまなみ海道」。年間走行台数は17万台を超え、地域活性化の起爆剤として官民一体となった受入体制整備に拍車がかかる。スピードや距離を競う走行スタイルに比重がある中、今後、ゆっくり地域を巡るレジャーとしての自転車旅行（シクロツーリズム）文化の振興を進めることが地域活性化へつながることを確認。その実現のための機能を備えた空間誕生を目指し、「シクロサロン」を開催することを確認し、意見交換を進めた。

i. コンセプトの発見

>>>

しまなみシクロハウス ～仲間と出会える場所～

出された意見

- ・自転車の楽しみ方の発信をして欲しい。
- ・新しい発見ができる場所が欲しい。
- ・地元ならではの情報が集まるとうれしい。
- ・旅人が集まる空間が欲しい。
- ・地元の人とも触れ合いたい。
- ・家に帰るような気分で立ち寄れる場所が欲しい。
- ・オーナーの人柄が大事だと思う。



ii. 目的の共有

>>>

2014年オープンが目標・成果はシクロツーリズム文化の定着

出された意見

- ・自転車ルートが整うしまなみに創る意義は高い。
- ・しまなみには日本の原風景がある。旅人の拠点になり得る。
- ・自転車旅行の振興はまちづくりだ。
- ・世界を旅した人がスタッフとして働く意味が分かった。



iii. マーケティング分析の共有 >>>

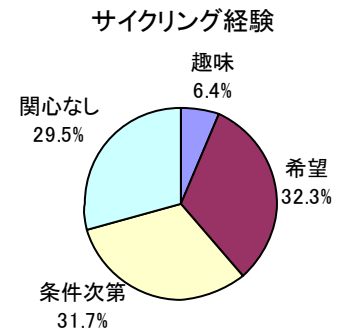
身の丈からできる「ミュージアム」・展望は宿の機能

2009 年度に行った 3000 人を対象にした WEB アンケート調査を参加者と共有。

マーケットを意識し、既に具現化したこと、未着手のものを整理した。

WEBアンケート調査

年代	男性			女性		
	未婚	既婚	合計	未婚	既婚	合計
10代	0.6	0.0	0.6	1.4	0.0	1.4
20代	6.0	0.0	6.0	8.3	0.0	8.3
30代	8.1	6.3	14.4	9.0	11.5	20.5
40代	0.0	8.1	8.1	0.0	7.5	7.5
50代	2.4	13.1	15.4	1.0	9.1	10.1
60代	0.3	4.3	4.6	0.1	1.8	1.9
70代以上	0.0	1.1	1.1	0.0	0.2	0.2
全体	17.4	32.8	50.2	19.8	30.0	49.8



趣味・・・普段から趣味としている人
 希望・・・強い希望を持つ人
 条件次第・・・条件が整えば希望する人
 関心なし・・・自転車目的の旅に関心がない人

	首都圏	京阪神圏	中国圏	四国圏
若者	25.0	25.0	17.0	33.0
ファミリー	25.0	15.0	10.0	50.0
シニア	40.0	30.0	10.0	20.0
全体	30.0	23.3	12.3	34.3

若者・・・10～20代・30代の未婚者
 ファミリー・・・30～40代の既婚者
 シニア・・・50代以上

スローサイクリングの要素 (WEB)

しまなみで関心を持った資源・メニュー

順に「風景・景観」「島をつなぐ橋」「観光スポット」「季節の変化」

●サイクリスト（趣味）と一般（全体）では、関心を寄せるメニューが異なる

↓

●サイクリングメニューは従来と異なるメニューの商品化に大きな可能性

	路地裏	山頂制覇	アップダウン	長距離	住民との会話
サイクリスト	53.9%	36.6%	35.6%	37.7%	27.2%
一般	38.1%	22.2%	18.3%	13.1%	15.9%

●年代・性別等によって関心をもつメニューが異なる

↓

●ターゲットによって異なるコース設定が必要

趣味→全メニューで強い関心。女性に特徴的に好まれるのが「路地裏」「観光スポット」

希望→若者で「観光スポット」「エクササイズ」

シニアで「アップダウン」「山頂制覇」「島をつなぐ橋」に感心

iv. ポテンシャルの共有



長く続く人と人との交流を育む中間支援機能を保有

2011年度にオープンした「しまなみサイクルオアシス」は先進的な機能として高い評価。マーケットニーズにあった、パンクや荒天に襲われる等のトラブル時バックアップの一助にと、できる範囲ではじめてた住民の手づくり機能をいかに持続していくかがキーワードであるとの認識で一致した。

しまなみサイクルオアシスでちょっと休憩



しまなみ海道をめぐるサイクリストにとって、まさにオアシスの存在なのが「しまなみサイクルオアシス」。サイクリングの途中で左のマークが掲げられた商店やガソリンスタンド、民宿を見つけたら、ぜひ立ち寄ってみよう。ち

よつとした休憩にぴったりのベンチがあったり、トイレ、空気入れ、給水など、ホッとひと息できるサービスが受けられる。サイクリストにフレンドリーな地元住民とのふれあいも、しまなみサイクリングの大きな魅力なのだ。

立派な駐輪スペースが整備されているサイクルオアシスもある。

しまなみサイクルオアシスで受けられるサービスはこれ！

- 空気入れ
- トイレ
- インフォメーション
- 給水
- 休憩所

※スタッフが不在の場合は各種サービスが受けられない場合があります。
※トイレサービスを行っていない場所もあり



しまなみ
サイクルオアシス
全42ヶ所

※オアシスポイントの場所、数などは2012年6月現在のもの



v. 機能の棚卸し



どこで・誰が・何を・どのようにするか？次回、設計！

出された意見

- ・夢を育む空間になって欲しい。
- ・オープン時間は柔軟にして欲しい。
- ・雨の日プログラムを保有して欲しい。
- ・メンテナンス機能、自転車組立サポートは必須。
- ・シャワーは必須。
- ・湧水が欲しい。
- ・木陰、お昼寝スペースが欲しい。
- ・ネットの時代だからこそ、生の情報を集約。



図書館（ミュージアム）への期待

- ・旅先では物々交換で得ていた。しまなみや宿で本と出会いたい。
- ・オーナー（＝世界旅をした宇都宮）の主観でポップが欲しい。
- ・著者と出会えとなおうれしい。

本の力

- ・自分のバイブルにする。
- ・旅を疑似体験できる。
- ・夢に近づくバイブル。
- ・行動力がしみこんでくる
- ・本を通して学べる。
- ・著者の世界観に出会える。
- ・活字を追う意味は深い。

[シクロサロンVOL. 2]

日時：平成25年10月13日（日）9：00～17：00

会場：今治市内・サイクルオアシス 他

テーマ：ブルーライン・ピクトグラム

参加者：38人

講師：疋田智氏（自転車ツーキニスト）



「進化し続けるしまなみ」と自転車業界オピニオンリーダーは語った。特に「サイクルオアシス」のしくみは他地域にも波及したいものと絶賛だ。

周遊型サイクリング促進の一手法として、「しまなみサイクルオアシス」の機能強化を目指し取り組む総合拠点整備。拠点に求められる機能の棚卸しと並行し、総合拠点の整備先「波方港」へのアクセス道路の検討に着手した。「しまなみ海道」「とびしま海道」「さざなみ海道」のトライアングル海道の起点となるポテンシャルは認識しつつも、ルートを楽しむサイクリストへの動線情報の発信や動線そのものの楽しみ方（＝新たなルートの整備）を実際の実証走行により、参画型で提案・整備する活動に入った。

i. 総合拠点への案内標識 >>>

ピクトグラム（道路等の公共空間にある図像）を検討

「しまなみ海道」「とびしま海道」「さざなみ海道」のトライアングル海道の起点「波方港」へのルート案内を検討した。「しまなみ海道」沿線にはサイクリストをわかりやすく誘導するため、車道左側に引いた青色の案内ライン「ブルーライン」がある。このラインと並ぶサインとして「ピクトグラム」を提案。どんなサインがあれば、情報集約があり、交流の拠点となる「波方港」へ迷わず走れるかを実地検証した。



ii. オアシス追加整備 >>>

総合拠点をおく今治市内陸地部に追加整備を実現

2011年度にオープンした「しまなみサイクルオアシス」は人気だ。サイクリング途中に立ち寄り、日陰で腰をおろしながら住民と懇談する姿も見られ、周遊型サイクリングの要の役割ともなっている。全オアシスの情報発信、各担い手の思いで動いている個別サービスの共通化等を目指す総合拠点の意義は深い。総合拠点整備と並行し、総合拠点をおく今治市陸地部沿道に、オアシスの追加整備を進めた。



アデュマン
愛媛県今治市常盤町2-3-1



和（のどか）
愛媛県今治市南大門町4-2-10



城慶寺
愛媛県今治市湊町2-1-45

しまなみ海道サイクリング愛好者の滞在型・周遊型促進を目指し、隣接するエリアのサイクリングルート化は効果的だ。総合拠点の動線発信にピクトグラムを検討、提案する中、ピクトグラムを「しまなみ海道」のブルーラインとつなぐことを第一歩に、新たなサイクリングロードの提案作業に入った。誘導動線は白砂の海岸線。歴史・文化等の資源も豊富なラインである。「はまかぜ海道」と名づけた。



サイクリングの醍醐味は、地元住民の温かいおもてなしを受け、土地と人のつながりや人と人のつながりを実感できること。そんな自転車文化を「しまなみ海道」を皮きりに愛媛県全域に拡げていこうとの構想もある。ルートを可視化した「ブルーライン」、自転車をそのまま積載できる「サイクルトレイン」等の基盤整備が進む中、自転車の休憩所「サイクルオアシス」は住民参画型の大切なしくみである。

[コンセプト]

ビジョン : 自転車旅行の振興は自立と共生の新たな地域づくり

ミッション : 地域に根ざした住民参画型のしくみづくり



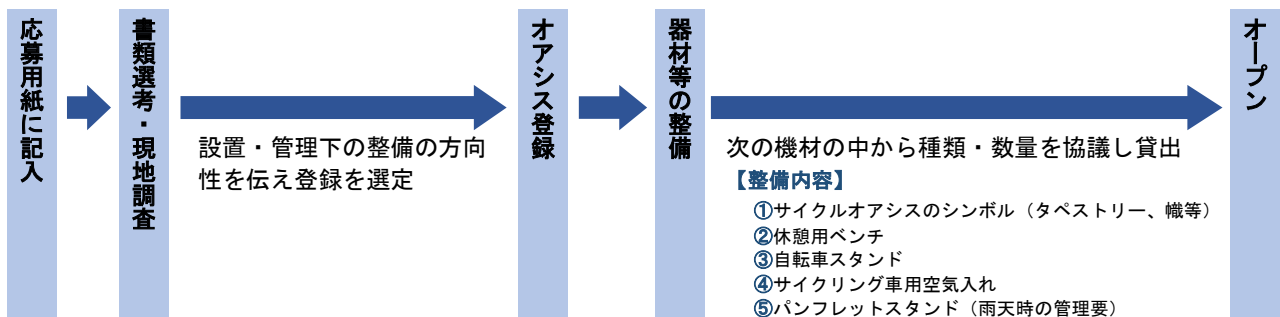
[オープンまでの経緯]

活動実績	住民の思い	地域の変化
●平成17年～「自転車モデルコースづくり事業」 自転車で渡れる橋を地域ブランドに育てる取組のきっかけ。 島で静かな空間をゆっくり堪能できる自転車コース提案。	観光振興への主体性は低め。 自転車旅行の振興がまちに効くのか不安。	自転車は一部のマニアの世界。
●平成19年～「しまなみ資源活用プロジェクト」 自転車旅行振興が地域活性化へつながるかの検討。 WEBアンケート調査・モニター調査を住民が実施。	まちづくりの担い手が徐々に参画。 車の旅とは違うスタイルに可能性を発見。	首都圏で沸き起こる自転車ブーム。
●平成20年～「しまなみスローサイクリング協議会」 島を超えたネットワーク組織を設立。 地域資源の発掘・発信等、できることを手づくりで実践。	サイクリスト向け受入サービス意欲向上。 島での滞在・周遊促進という新たな課題。	No. 1の自転車道として認知度向上。
●平成22年～「しまなみサイクルオアシス」 ニーズ(休憩・トラブル対応)を受け、身の丈のサービス化。 住民の有志が軒先を開放する「自転車の駅」を具現化。	試行錯誤より、まず一 住民参画のオアシスがしまなみブランドの根幹。	しまなみ海道の人気急上昇。

[しくみ移転の考え方]

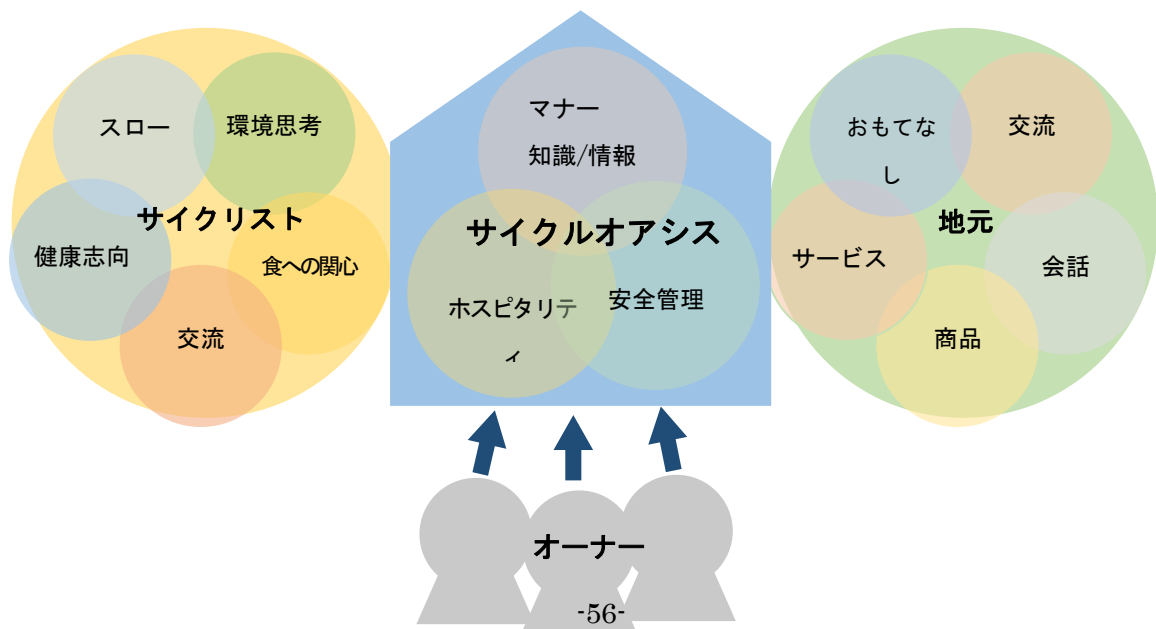
- ◎しまなみで創りあげた「しくみ」のポイントを理解
 - * 地域の外（サイクリスト）からの「気づき」が契機
 - * 住民の主体的な「参加」と内から沸き起こる「育ち」が重要
- ◎しまなみの「成功体験」を大きな流れへ
 - * 地域で「民」の役割を促す制度・政策の実現へ
 - * 地域をまとめ、支援する「旗振り役」が必要
 - * 官民の枠を超えたフラットな「顔と顔が見える」関係づくり

[具体的な認定作業]



ア. 公募

地域住民の主体的参画を促すため、公募スタイルをとり、拓かれた組織をつくります。



[応募用紙]

「しまなみサイクルオアシス」応募用紙										
								平成 2 5 年	月	日
NPO法人シクロツーリズムしまなみ 様										
住所:										
(団体名)氏名:								印		
「しまなみサイクルオアシス」の整備を希望するので、次のとおり応募します。										
1	サイクリング客の休憩場所として開放していただける場所の所在地(形態)及び開放面積を記入してください。 (形態の例:駐車場、庭先、軒下等)	所在地								
		(形態)								
		開放面積	約	m ²						
2	サイクリング客から右欄の要望があった場合、対応の可否を記入してください。(○印) (昼間、在宅時のみの対応で可)	飲み水(水道水等)の提供							可・否	
		トイレの借用							可・否	
3	サイクリング情報やグリーンツーリズム情報などをサイクリング客に提供することが可能ですか。(○印) (昼間、在宅時のみの対応で可)	情報の提供							可・否	
		(各種情報は提供します)								
4	休憩用器材の内、貸与を希望するものに○印を付けてください。 (しまなみサイクルオアシスのシンボルは全箇所を設置します)	休憩用ベンチ							要・不要	
		自転車スタンド							要・不要	
		サイクリング車用空気入れ							要・不要	
		卓上パンフレットスタンド							要・不要	
5	貸与した器材を良好な状態で管理し、活用状況を報告していただけますか。	器材の管理及び活用状況の報告							可・否	
6	しまなみサイクルオアシスとして、しまなみを訪れるサイクリング客とどのように交流を図っていくのか抱負を記入してください。									
7	その他、アピールポイントや意見・要望等があれば記入してください。									
8	連絡先及び職業を記入してください。	電 話								
		F A X								
		メー ル								
		職 業								

イ. 現地調査

「サイクルオアシス」に込めたメッセージを伝えるため、応募者と面会しましょう。

サイクルオアシスは人と人をつなぐ交流空間。

- * オーナーの人柄に惹かれて会いにくる。
- * 地元の人しか知らないっておきの情報がある。

[現地調査カード]

	○△□×	○△□×	○△□×	○△□×	○△□×
① 回遊性(14点) 景観等を楽しめるルート、人・歴史・文化・食等とのつながりをいかせるか ・公共交通との連動 ・他のオアシスとの位置関係					
② 担い手の意欲(14点) オーナー自身にサイクリストへの情報提供や交流のご意欲があるか ・オーナーが自転車好き ・情報力					
③ ポテンシャル(14点) ルート沿線の魅力や特徴といったポテンシャル要素があるか ・今治らしさを感じる立地 ・空間的な魅力					
④ 基礎点(8点) ・水 ・トイレ ・タペストリー ・空気入れの管理					

ウ. 登録

[共通のタペストリーが目印]

組み合わせ1



組み合わせ3



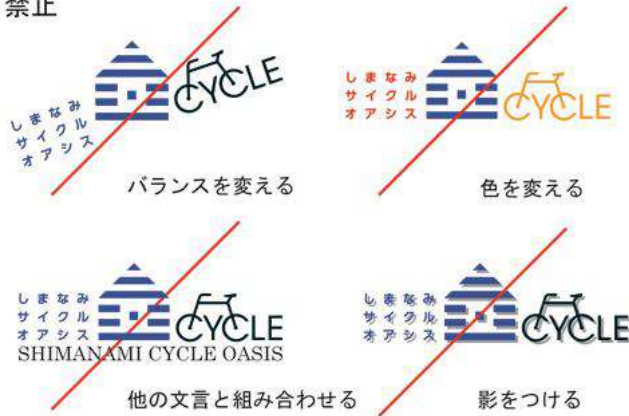
組み合わせ2



ピクトグラム



禁止



カラー

可能なかぎり
特色 (Pantone2728C)
を使用する。



プロセスの場合は
なるべく Pantone2728C に
近づける。



[しまなみ海道以外のルートでの使用]

ロゴの名称を変更する場合は「しまなみサイクルオアシス管理運営者：NPO法人シクロツーリズムしまなみ」の許可が必要です。(製作委託もご相談ください。)



エ. 器材等の整備

以下の備品を最低限、揃えましょう。



空気入れ

米／仏／英バルブ対応など、スポーツバイクに最適なフロアポンプを設置してください。自由に使えるよう、配置してください。



給水

ボトル給水サービスを無料で実施してください(飲料水であれば、水道水で構いません)。お声かけに応じて、サイクリストが保有しているマイボトルに注入ください。



トイレ

お声かけに応じて、トイレの貸し出しをお願いいたします。不在時は貸し出しができません。ご相談ください。



休憩所

腰を下ろせるベンチを設置してください。店舗内の適当な休憩スペース開放でも構いません。青空空間の場合は木陰があると喜ばれます。



インフォメーション

地元情報を揃えてください。「しまなみ海道」では、坂の勾配など自転車で走るための情報が満載の地図、自転車目線のガイドブックを常備しています。

② カフェ

地元とのタイアップで、準備、撤収の手間の軽減と、出店そのものに自転車まちづくりの啓発性を備えたライブ感のある自転車移動カフェ「シクロカフェ」を展開。安定した営業場所を確保するための条件整備等を進め、「しまなみサイクルアシス」の総合拠点化への基盤整備に着手した。

1回目：平成25年5月3日（金・祝）15：00～17：00 in 今治港ふれあいマリン広場

来場者：約250名（うち自転車ヒロバ体験者約85名）

自転車旅行者受入基盤の一つ「サイクルトレインしまなみ号」の運行に合わせ、カフェをオープン。ゴールデンウィーク後半戦の初日とあって、五月晴れを楽しむ市民の来訪もあり、市民と自転車旅行者が交流する居心地のいい空間となった。



2回目：平成25年5月12日（日）10：00～15：00 in 今治商店街本町筋

来場者：約118人

★イベントコラボ

今治市の目抜き通り・広小路を会場に軽トラ市が並ぶ今治市の目玉イベント。たこ飯、サザエ飯、焼き鳥などの屋台から、占い、ネイル、リラクゼーションといった癒やし系テントまで各種勢揃いする中、シクロカフェをコラボオープン。



3回目：平成25年5月25日（土）10：00～15：00 in 糸山公園

来場者：約600人

★イベントコラボ

しまなみ海道を巡るサイクルイベント「グランツールせとうち」とコラボし、シクロカフェをオープン。穏やかな瀬戸内の景色や食を楽しむ交流ライドの参加者に新メニュー「甘夏アイステイ」を提供。モニタリングいただいた。



◀モニタリングいただいた
新商品

4回目：平成25年5月26日（日）14：00～15：00 inしまなみサイクルオアシス「昌万」

来場者：22人

★オアシスコラボ

しまなみサイクルオアシスとのコラボ出店として企画。海道を走り抜けるサイクリストを呼び止め、交流を促す移動カフェとしてオープン。地域の手づくり豆腐店と提携した「豆乳プリン」を提供。モニタリングいただいた。



5回目：平成25年6月29日（土）7月6日（土）7月13日（土）7月20日（土）7月27日（土）

8月10日（土）8月31日（土）19：00～21：00 in今治商店街

来場者：延350人

★イベントコラボ

今治市中心商店街恒例の土曜夜市とコラボし、シクロカフェをオープン。定番メニューのドリンク3種（島採れイチゴのスムージー、島採れブルーベリーのスカッシュ、オリジナルブレンド豆のアイスコーヒー）を揃えて、カフェタイムを提供した。



6回目：平成25年8月23日（金）8月31日（土）18：00～21：00 in城慶寺 他

来場者：延210人

★サイクルオアシス（寺院）とのコラボ

「しまなみ海道」と「とびしま海道」を船でつなぐことを意識し、今治市陸地部の今治港・波方港等への周回コースを発信することを目指し、コースに位置する寺院とコラボレーションし、シクロカフェをオープン。立ち寄りを促した。



本取組による地域の変化

(サイクリストの増加)

開通時は一部のマニアが訪れるに留まるサイクリングロード。住民としてはそんな印象だった「しまなみ海道」。今や、海と島と橋が織り成す雄大な風景に魅了され、世界各地から多くのサイクリストが訪れている。ヘルメットをかぶり、スポーティなバイクで駆け抜けるサイクリストは、日常の風景となり、それは島の印象も変えた。橋をおり、島の中の一般道を走るサイクリストも増え、島の中で写真をとったり、脇道へ迷い込んだりするサイクリストと挨拶を交わすシーンも。交流を促し、地域活性への道程を描きたいとの思いを再認識している。

- ★しまなみ通行台数 2013.6.5 愛媛新聞
- しまなみ海道振興協議会
- 2012年度 自転車通行量 17万4935台
(1日平均479台)
- 推計:GW・お盆の8日間・沿線5箇所で開催
8日間 32963台
=レンタ14100台(43%)
マイ自転車18863台(57%)

しまなみ自転車通行17万4935台
12年度 観光振興へ初推計
振興協

今治市や広島県尾道(長)は3日、しまなみ海
市などをつくる瀬戸内 道の2012年度の自
しまなみ海道振興協議 転車通行量が17万49
会(会長・菅良二今治市 35台で、1日平均4

79台だったとの推
計値を発表した。自転
車による観光振興を図
るため、初めて調査し
た。

調査は、サイクリン
グ客が多いゴールデン
ウィークやお盆期間な
どの8日間を選び、今
治市大三島の多々羅し
まなみ公園や尾道市生
口島のインターチェン
ジ付近など沿線5カ所
で実施した。

8日間の自転車通行
量は計3万2963
台。このうちレンタサ
イクルが1万4100

(えひめマルゴト自転車道)

愛媛県は高い評価を受ける「しまなみ海道」をメインフィールドに、台湾訪問団との交流サイクリング等の実践を通して、レジャーとしてのサイクリングの振興による地域経済活性化に取り組み始めた。サイクリング環境の快適性向上へ向け、当会が手がけた「しまなみサイクルオアシス」のしくみを拡充する動きとも連動する。県下全域ルート of 戦略的な発信、受入体制整備のアクションプランとして、「サイクルオアシス」のしくみの移転を志向。平成25年度、「しまなみ海道」と連続する「はまかぜ海道」への拡充を実験的に実施し、愛媛県が提唱する「愛媛マルゴト自転車道」へのしくみ波及を検証したい。

また、広島県土木局が進める「ナショナルサイクリングロード」創設の追い風も牽引する取り組みができた。サイクリングに必要な情報を丁寧に伝えようと、当会作製「島走マップ」を常備する提携の個店は急増。飲食店や宿にも情報が行き渡り、かつ、サイクリスト向け土産の充実も進むなど、地域が一丸となった受入体制が生まれつつある。

[愛媛マルゴト自転車道パンフレット]

愛媛マルゴト自転車道の推進
愛媛県では、しまなみ海道を中心に全県域を誰もが自転車で楽しみ、誰もが自転車を愛する「愛媛マルゴト自転車道」を展開することで、「愛媛がサイクリングの楽園」となることを目指しています。

ブルーライン
「サイクリストをとりやすく誘導するため、路面に敷いた「安心ナビ」走行の目安となるよう距離や方向を表示

自転車安全利用の規則を守りましょう
愛媛県では、「自転車の安全な利用の促進に関する条例」が制定されています。

- 1 自転車は、車道の左端を通行し、安全な速度で走行してください。
- 2 歩道は歩行者優先、自転車は歩道を通行するときは、歩道左側に位置をとり、歩道を通行してください。
- 3 安全ルールを守る
 - ◆飲酒運転(二人乗り)の禁止
 - ◆交差点での番号遵守一時停止・安全確認
 - ◆夜間はライトを点灯

[ナショナルサイクリングロード展開イメージ]

【重点提案7】世界に誇るサイクリングロードの創設について

①認定制度(ナショナルサイクリングロード(仮称))の創設

世界に誇りうる質の高いサイクリングロードに対する認定制度の創設や、その上での整備推進について国として積極的な支援を行うこと。

利用者の施設を有する沿線サイクリストの拠点事業を創設(シェアリングセンターやレンタサイクル)

ブルーライン設置

イベント開催状況

サイクルオアシス

案内看板

マイクワターミナル

しまなみ海道における自転車の通行料金の無料化

利用者の負担軽減や利便性向上を図るため、自転車通行料金の無料化に向けた取組に対し、積極的な支援を行うこと。

今治のNPOプラン優秀賞

自転車であらゆる瀬戸内をめぐり

「しまなみ海道」を自転車で走り、船を使って瀬戸内海の島々をめぐる観光コースを今治市のNPO「シクロツーリズムしまなみ」が提唱している。このプランは地域の観光を支援する財団法人の優秀賞を受賞。賞金1千万円を使ってコースに休憩所を設け、ツアーの企画などをすすめる。

賞金使い、休憩所設置やツアー企画



瀬戸内海をめぐる自転車ツアーのコース図

コースは、しまなみ海道（今治市く広島県尾道市）と「ささなみ海道」（尾道市く広島県呉市）、「とびしま海道」（呉市く今治市）を結ぶ1周約200km。自転車で走り、海路は船に自転車を積み、瀬戸内海の島々をめぐる。

「シクロツーリズムしまなみ」は、自転車を通じて地域を元気づけようと、旅行のプラン作りやガイドなどをしている。「しまなみ海道」を走ったあと、瀬戸内海の島々も楽しんでもらおうと企画した。

高速道路を使った地域支援に取り組み「高速道路交流推進財団」（東京都、解散）の助成事業に応募。「瀬戸内海の観光資源を生かす良案」と評価され、2月に優秀賞に決まった。

提案では、島を自転車で走るのに最適な「島走マップ」を充実▽来年3月までに自転車を積み船をチャーターしたツアーを4回開く▽観光案内する休憩所「サイクルオアシス」を今治市に設ける――などを実施する。

代表の山本優子さん(39)は「しまなみ海道と広島側をつなげて滞在型の観光に結びつけたい。行政と手を結んで進めたい」と意気込む。（直井政美）

(2) オアシスの追加整備

新たな担い手を発掘。オアシスが不足しているエリアを中心に6カ所オープンした。

○応募者数：8軒

*現地調査の結果、2カ所は見送り。

理由：来訪者受入の準備不足
(オープン前等の理由)

○整備数：6軒

*12/9(月)・12/28(土)に備品配備

名称	場所
石・今昔ギャラリー	大島・今治市吉海町
ギャラリー赤燈台	伯方島・今治市伯方町有津
大三島ふるさと憩の家	大三島・今治市大三島町宗方
クルーザー	大三島・今治市上浦町井口
コアントロー	大三島・今治市大三島町宮浦
ボッコ製菓	大三島・今治市上浦町井口



◆関連新聞記事◆

朝日新聞 13版 ▲ 2014年(平成26年)1月29日 水曜日 享月

サイクリストの休息所設置 今治で急増 27カ所に

1カ月前に設けられたサイクルオアシス
今治市上浦町の喫茶店「クルーザー」

細戸内しまなみ海道などでサイクリングを楽しむ人たちが利用する休息所「サイクルオアシス」が今治市内で増えている。昨年9月末に比べ約1.3倍の27カ所になり、「自転車の聖地」としての利便性が高まっている。

サイクルオアシスでは休憩や給水、空気入れなど工具の貸し出しのほか、しまなみ海道の観光パンフレットも入手できる。自転車を壊にした町づくりを進めるNPO法人シクロツーリズムしまなみ(山本優子代表理事)が「世界中から来る

同市上浦町井口(大三島)の喫茶店「クルーザー」は昨年末にオアシスを設けた。店内に3年前に置いた「旅のノート」には、国内外のサイクリストたちがしまなみ海道の思い出をつづっている。経営者の西岡純さん(但し)は「今年には国際イベントがある。サイクリスト向けに栄誉豊かなメニューを考案出し、世界中から来る人たちをもてなしたい」と意気込んだ。

その結果、昨年9月末までに市内では民宿、ガソリンスタンド、喫茶店、寺など21カ所で設けられた。自転車人気の高まりを受けて設置希望が多くなり、同10月以降に6カ所が新たに加わった。

サイクリストをもてなしたい」と2011年に設置を呼びかけ、商店などに協力を申し入れた。

朝日新聞 2014(平成26)年1月29日

(3) 回遊促進ツールの開発と配布

①サイクリスト向けオアシス新聞の発行

サイクリング来訪者にオアシスの魅力を発信する新聞を発行した。「国際サイクリングプレ大会」時をはじめ、しまなみをフィールドに開催されるサイクリング大会の際には積極的に配布し、県外者に情報を届けた。また、二次交通・サイクルトレイン内等でも配布し、下車後のサイクリング途中、オアシスへの立ち寄りを促した。



しまなみにはおもてなしの心がある
サイクリストの休養所 しまなみサイクルオアシス

海と山と海が織りなす絶大な自然が、人々を魅了して止まないしまなみ海道。日々を暮らす旅を自転車でも味わうとあって、道中は多くのサイクリストが訪れ、その数は年々増えています。

世界各地からやってくるサイクリストをおもてなししたい……。そんな旅人の声が響いて、平成23年(2011年)、しまなみサイクルオアシスが誕生しました。食料店、サイクルスタンド、お土産店、お茶店などさまざまな施設の一角にベンチを置き、給水、トイレ、水筒入れ、工具の貸し出し、情報提供などを行う、まさにホッと一息つけるオアシス。安らぎの場所です。ぜひ立ち寄って、海沿の風を心に刻んでいってください。

平成25年秋現在、しまなみサイクルオアシスは全島沿道から愛護団体の皆さま、合計66カ所整備されています。



都道府県	NO	名称	住所
山口県	01	山口県庁	山口県山口市下関町1-1
	02	山口県庁 下関支庁	山口県下関市下関1-1
	03	山口県庁 防府支庁	山口県防府市防府1-1
	04	山口県庁 萩支庁	山口県萩市萩1-1
	05	山口県庁 徳島支庁	山口県徳島市徳島1-1
	06	山口県庁 高松支庁	山口県高松市高松1-1
	07	山口県庁 尾道支庁	山口県尾道市尾道1-1
	08	山口県庁 周布支庁	山口県周布町周布1-1
	09	山口県庁 美濃支庁	山口県美濃市美濃1-1
	10	山口県庁 萩支庁	山口県萩市萩1-1
広島県	11	広島県庁	広島県広島市東区本町1-1
	12	広島県庁 安芸支庁	広島県安芸市安芸1-1
	13	広島県庁 尾道支庁	広島県尾道市尾道1-1
	14	広島県庁 府中支庁	広島県府中市府中1-1
	15	広島県庁 安芸支庁	広島県安芸市安芸1-1
	16	広島県庁 尾道支庁	広島県尾道市尾道1-1
	17	広島県庁 府中支庁	広島県府中市府中1-1
	18	広島県庁 安芸支庁	広島県安芸市安芸1-1
	19	広島県庁 尾道支庁	広島県尾道市尾道1-1
	20	広島県庁 府中支庁	広島県府中市府中1-1
岡山県	21	岡山県庁	岡山県岡山市東区東本町1-1
	22	岡山県庁 倉敷支庁	岡山県倉敷市倉敷1-1
	23	岡山県庁 津山支庁	岡山県津山市津山1-1
	24	岡山県庁 高松支庁	岡山県高松市高松1-1
	25	岡山県庁 倉敷支庁	岡山県倉敷市倉敷1-1
	26	岡山県庁 津山支庁	岡山県津山市津山1-1
	27	岡山県庁 高松支庁	岡山県高松市高松1-1
	28	岡山県庁 倉敷支庁	岡山県倉敷市倉敷1-1
	29	岡山県庁 津山支庁	岡山県津山市津山1-1
	30	岡山県庁 高松支庁	岡山県高松市高松1-1
香川県	31	香川県庁	香川県高松市高松1-1
	32	香川県庁 高松支庁	香川県高松市高松1-1
	33	香川県庁 高松支庁	香川県高松市高松1-1
	34	香川県庁 高松支庁	香川県高松市高松1-1
	35	香川県庁 高松支庁	香川県高松市高松1-1
	36	香川県庁 高松支庁	香川県高松市高松1-1
	37	香川県庁 高松支庁	香川県高松市高松1-1
	38	香川県庁 高松支庁	香川県高松市高松1-1
	39	香川県庁 高松支庁	香川県高松市高松1-1
	40	香川県庁 高松支庁	香川県高松市高松1-1
愛媛県	41	愛媛県庁	愛媛県松山市松山1-1
	42	愛媛県庁 松山支庁	愛媛県松山市松山1-1
	43	愛媛県庁 松山支庁	愛媛県松山市松山1-1
	44	愛媛県庁 松山支庁	愛媛県松山市松山1-1
	45	愛媛県庁 松山支庁	愛媛県松山市松山1-1
	46	愛媛県庁 松山支庁	愛媛県松山市松山1-1
	47	愛媛県庁 松山支庁	愛媛県松山市松山1-1
	48	愛媛県庁 松山支庁	愛媛県松山市松山1-1
	49	愛媛県庁 松山支庁	愛媛県松山市松山1-1
	50	愛媛県庁 松山支庁	愛媛県松山市松山1-1
徳島県	51	徳島県庁	徳島県徳島市徳島1-1
	52	徳島県庁 徳島支庁	徳島県徳島市徳島1-1
	53	徳島県庁 徳島支庁	徳島県徳島市徳島1-1
	54	徳島県庁 徳島支庁	徳島県徳島市徳島1-1
	55	徳島県庁 徳島支庁	徳島県徳島市徳島1-1
	56	徳島県庁 徳島支庁	徳島県徳島市徳島1-1
	57	徳島県庁 徳島支庁	徳島県徳島市徳島1-1
	58	徳島県庁 徳島支庁	徳島県徳島市徳島1-1
	59	徳島県庁 徳島支庁	徳島県徳島市徳島1-1
	60	徳島県庁 徳島支庁	徳島県徳島市徳島1-1

地元高校生が道志
「オアシスのサイクルオアシス住ここ」

自転車大好きオーナーさんが笑顔で迎えてくれます

NO.15 アイシン製菓 今治市南条町2丁目1-7

今治市の地元高校生が、オアシスのオーナーさんとして、オアシスの魅力を発信しています。オアシスの魅力を発信するために、オアシスの魅力を発信しています。オアシスの魅力を発信するために、オアシスの魅力を発信しています。



パツダンのロケーションで撮られます

NO.17 松本 今治市南条町1-4-6

パツダンのロケーションで撮られます。パツダンのロケーションで撮られます。パツダンのロケーションで撮られます。パツダンのロケーションで撮られます。



6. その他の自転車ツアー

(1) パートナーツアー

○ここで漕いで瀬戸内海（今治国際ホテル）

内容：シーカヤックとサイクリングの2つのアウトドアで瀬戸内海を満喫するツアー。

今治国際ホテル～来島海峡大橋～馬島～大島～来島海峡大橋～今治国際ホテル

実績：平成25年5月4日（土）4名



○毎日新聞旅行（毎日新聞旅行主催ツアーのアテンド業務委託）

内容：しまなみ海道を2日間かけて縦断するツアーのアテンド。（今治国際ホテル宿泊プラン）

実績：平成25年4月6日（土）・7日（日）21名

平成25年10月26日（日）・27日（日）17名



○クラブツーリズム（クラブツーリズム主催ツアーのアテンド業務委託）

内容：しまなみ海道を2日間かけて縦断するツアーのアテンド。

実績：平成25年5月26日（日）・27日（月）



○JTB しまなみ海道タンデム自転車ツアー

実施日：平成25年8月5日（月）2名



○近畿日本ツーリスト しまなみ海道の地域資源を巡る自転車ツアー

実施日：平成26年3月12日（水）6名



(2) オーダーメイドツアー

○内容：しまなみでの自転車の個人旅行を個別にコーディネートした。

実績：「しまなみ海道ポタリング」平成25年4月2日（火）4名（グループ旅行）

○内容：しまなみでの自転車の団体旅行を個別にコーディネートした。

実績：瀬戸内しまなみリーディング会 平成25年5月26日（日）20名

リーディング会（企業の傘下グループ）の自転車チーム発足への
きっかけづくりとしてビギナー対象のサイクリングツアー。



愛亀ツアー 平成25年6月1日（土）20名

建築組合メンバーを対象にサイクリングツアーをコーディネート。全国から
参加者が集まる中、来島海峡大橋サイクリング、大山祇神社へのご案内等を行った。



今治商工会青年部ツアー 平成25年7月6日（土）120名

今治商工会青年部メンバーを対象に、しまなみサイクリング体験を実施。
来島海峡大橋を渡り、憧れの地となっているしまなみを体感いただいた。



笑顔のまつやまわがまち工房ツアー 平成25年8月3日（土）16名

サイクリングやウォーキングを取り入れた松山市活性化に取り組むメンバーを対象に、伯方島
周遊サイクリング体験を実施。住民との交流、地産食材等でのもてなしを体感いただいた。

株式会社フォレストキャニオン 平成25年11月29日（日）3名

アウトドアプログラム提供会社の社員の皆さんがしまなみ自転車旅行を体感するツアー。来島
海峡大橋を渡り、名駒のみかん畑、海辺のペンションでのランチを堪能いただいた。

7. 物品販売

(1) 書籍部門

しまなみ自転車旅行をサポートするツールとして、先行発行している「MAP」に並び、「Book」を発行。
 ＊県内書店を中心に書籍としての発行体制を完了。「しまなみサイクルオアシス」を中心に提携店の拡大。



(2) 土産部門

しまなみに自転車旅行に訪れる人をターゲットにした商品を開発、販売した。

＊サンライズ糸山併設「風のレストラン」、島しょ部の飲食店・宿泊施設での販売が実現。



(関連事項)

自転車専用マップ、Tシャツ等の商品、自転車レシキューのしくみに使用している「島走(トウソウ)」の商標登録が完了した。

8. 講師派遣

4月11日(木)	株式会社瀬戸内しまなみリーディング	リーディング会という企業傘下グループを対象に、世界88カ国・タンデム自転車旅行の経験、経験をいかした自転車まちづくりのビジョンと活動を伝え、企業とNPOとの連携の可能性を共有した。
4月13日(土)	株式会社サイクルポートプランニング	増加傾向にある「しまなみ海道サイクリスト」に対して地域住民がどのように接し、土地のよさをどう知ってもらったらいいのかを学ぶ講演会において、実践を通しての気づきを伝えた。
4月29日(月)	株式会社FMえひめ主催	しまなみサイクリングの魅力伝えるラジオ放送へのアテンド協力。来島海峡大橋、大島周遊サイクリングをナビゲートしながら、季節感溢れる情報を伝えた。
4月14日(火)	今治旅館業組合若手会主催	しまなみサイクリングの魅力、サイクリストの受入基盤整備を紹介。サイクリストのニーズに合致した宿泊の受入、まちなか回遊を意見交換し、地域活性化ビジョンを共有した。
4月14日(火)	聖カタリナ大学主催	大学生を対象に世界88カ国・タンデム自転車旅行の経験、経験をいかした自転車まちづくりのビジョンと活動を伝えた。地元参画型で進める自転車旅行者受入による地域再生を示唆した。
5月25日(土)	新田中等教育学校主催	自転車のルールやマナーを啓発すること、かつ、愛媛県が力を入れる自転車による観光振興の取組を体験型で学ぶことを目的に、授業の一環としてのプログラムの講師をつとめた。
5月30日(木)	波方文化協会主催	今治市波方町の文化的な発展に寄与する文化協会活動の総会において基調講演を担当。自転車まちづくりの可能性を提示した。コースとして波方町のポテンシャルを共有する時間となった。

6月19日 (水)	若者支援塾	就労を目指す若者を対象に世界88カ国・タンデム自転車旅行の経験、経験をいかした自転車まちづくりのビジョンと活動を伝えた。NPOで働く意味を通して、社会への関わり方を意見交換した。
7月24日 (木) 8月22日 (木)	みちのく潮風トレイル路線検討WS	青森県から福島県へのびる約700kmのロングトレイルの路線における「トレイルサポーター」のしくみ検討WSにおいて、「しまなみサイクルオアシス」の事例提供及びアドバイザーを担当。
9月7日 (土) 9月8日 (日)	ミサワホーム主催	「ミサワガーデン道後平」(住宅展示場)において、訪れる見学者や住民を対象に、「自転車ヒロバ」と「シクロカフェ」を体験型で提供した。
10月8日 (火)	今治三四会	しまなみ海道の車道を自転車で走る国際サイクリング大会プレイベントを前にサイクリングによる観光振興への関心が高まる中での講演依頼。持続可能な自転車まちづくりを紹介。
11月12日 (火) 11月20日 (水)	愛媛大学附属中学校	愛媛県が力を入れる自転車による観光振興の取組、しまなみ海道サイクリングの魅力を体験型で学ぶ授業を担当。授業を選択した40名余りに講義とサイクリング体験アテンドを行った。
11月17日 (日)	Di339 主催	男女の出会いの場を増やし、今治で結婚する若者の増加を目指す団体のプログラムを担当。「タンデム自転車」を活用した婚活サイクリングツアーのアテンドを担当。
11月29日 (金)	四国経済連合会	「瀬戸内しまのわ2014」のメインイベントとして、しまなみ海道車道での国際サイクリング大会開催を前にサイクリングによる観光振興への関心が高まる中、持続可能な自転車まちづくりを紹介。
1月24日 (金)	南予地方局 (NPO法人森の国ネット)	宇和島圏域・四万十流域のアウトドアスポーツの連携と振興に係ることを目的とした人材交流会で講義。しまなみの自転車振興の取組、圏域の連携を紹介。
1月30日 (木)	あしたのコミュニティラボ	人を中心に社会のこれからを考えていくWebメディアへの情報提供を兼ねての講師派遣。コミュニティヘルスをテーマにしまなみ海道サイクリング振興の取組を紹介。
2月14日 (金)	瀬戸内ブランド推進連合(広島県商工労働局海の道プロジェクトチーム)	瀬戸内ブランドの確立を進める7県(兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県)による連携母体からの依頼。ブランド推進のアクションプランの一つ「サイクリングの聖地「瀬戸内」の実現」に向けた取組への助言を担当。
3月22日 (土)	愛媛県経済労働部 産業支援局 産業創出課	地方の取組み事例等を聴取し、国の施策等へ反映することを目的に開催する「地方版クールジャパン推進会議」への参加。多様な愛媛のコンテンツ産業がある中、自転車の取組を紹介。

9. 審議会・委員会・意見交換会への参加

4月10日 (水) 10月1日 (火)	今治市中心市街地再生協議会総会 今治市中心市街地再生協議会主催	今治市中心市街地の賑わい創出に取り組む協議会の総会へオブザーバー参加。作業部会「サイクル部会」のまちなか再生事業を報告した。
4月15日 (月) 5月22日 (水) 7月9日 (火) 7月18日 (木) 8月6日 (火) 9月12日 (木) 11月19日 (火)	今治市中心市街地再生協議会運営会議 部会長会議 今治市中心市街地再生協議会主催	今治市中心市街地の賑わい創出に取り組む協議会の運営会議へ参加。部会評価や部会間連携のあり方、組織体制構築等を進めた。
平成24年 7月25日 (水) 3月22日 (金)	しまなみ周遊サイクリング普及事業連絡会議 愛媛県今治支局総務県民室主催	自転車による周遊・滞在型の旅行スタイルを普及させるための各種情報交換、事業の円滑・効果的に実施のための会議を開催。

10. 今治市中心市街地再生事業 事務局（事業主体：今治市中心市街地再生協議会サイクル部会）

「しまなみ海道」を目的地に訪れる自転車旅行者を、中心市街地まで誘客し、賑わい創出を目指す「サイクル部会」の事務局を担当。まちなかでの自転車の利用環境を高め、まちなかの自転車による「回遊性」「移動性」を高める実験的取り組みを踏まえ、交流人口拡大に資するしくみづくり、自転車安全運転等の啓発イベントの開催等を実施した。

※詳細は別紙「今治市中心市街地再生協議会サイクル部会の取り組み」参照

(1) 回遊ネットワークに対する取組

① サイクルオアシス

しまなみエリア外拡充の手引き書整理をすると共に、まちなかはそのモデル地区として2軒追加オープン公募。既に整備済の4つのオアシスの担い手との交流も深めた。

② サイクルスタンド設置

6人のシクロ・ツーリスト2体設置した。設置セレモニーを開始し、「しまなみ海道」から中心市街地エリアまでをルートでつなぐ回遊の導としての活用到手応えを感じた。

③ はまかぜ海道発信

「しまなみ海道」と連続したサイクリングルートとして「はまかぜ海道」をアピールする活動、誘客ルートの可視化を目指したマップ作成、ピクトグラムの整備等の提案を行った。



▲まちなか誘客のルート「はまかぜ海道」沿いのオアシスは寺院。ご住職との交流も楽しい。



▲全6体を設置し、まちなか誘客を進めるオブジェ。2体設置完了で、既に話題沸騰。



▲ブルーラインに次ぐ、はまかぜ海道・ピクトグラム！まちなか誘客の目印づくりを市民参画で検証。

(2) 他、活性化に資する取組

① 自転車マナーUP事業

歩行者・自転車・自動車等がお互いの立場を思いやり、道路を共有する精神・シェア・ザ・ロードを推進する「自転車安全運転宣言活動」「いまばりスマートライド2014」に取組んだ。

② スマートライダー育成事業

子どもをまんやかに、3世代がまちなか空間に集う遊び場「自転車ヒロバ」を定期的にオープン。イベントとのコラボレーションで認知度を拡大。集大成としてのランニングバイク選手権を開催した。



▲いまばりスマートライド2014は38名の参加を得て開催。スタートは「自転車安全運転宣言」。



▲今治商店街土曜夜店では馴染みのイベントとして定着。今治港でも不定期ながら開催し、来場到手応え。



▲まちなかの公共空間を活用した「自転車ヒロバ」の集大成は、サイクリストの卵を育てる「選手権」。